平成21年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2009

平成21年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2009

目次

凡例 04
美術館日誌 05
展示活動
特別企画展等 06
常設展 14
常設企画展 17
展覧会関連記事 18
教育普及活動
こどもアートアドベンチャー 21
夏休みこども美術館 22
講座 23
開館記念事業 24
福岡ミュージアムウィーク 24
博物館実習 25
職場体験学習 25
読書室企画 25
ボランティア活動 26
出版物 29
調査研究活動 31
収集活動
美術資料 32
図書・映像資料 35
美術資料の修復・貸出 36
市民による施設の利用
展示室 41
講堂 47
教養講座室 47
実技講座室 49
版画印刷工房 51
入場者数一覧
展覧会観覧者数 52
読書室利用者数 53
名簿 54

凡例

1 本冊子は福岡市美術館の平成21年４月１日から平成22年３月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.21は平成21年の略字である。

2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。

3 主催展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

4 「収集活動」の「美術資料」購入分については平成21年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩等の452番である。

1	郷土作家（注1）	A	油彩等（注2）	作品番号
2	日本作家	B	日本画等（注3）	
3	海外作家	C	水彩等（注4）	
4	黒田資料	D	素描	
5	東光院仏教美術資料	E	版画	
6	松永コレクション	F	写真	
7	太田コレクション	G	彫刻等（注5）	
9	石村コレクション	Ha～Hf	工芸（注6）	
11	森山コレクション	I	書跡	
12	三宅コレクション	J	文書	
13	山崎朝雲資料	K	その他	
14	一般古美術資料			
15	研究資料			
16	西本コレクション			
17	本多コレクション			
18	クスマコレクション			
19	藤森静雄資料			
20	森田コレクション			
21	川村コレクション			

注
1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A（油彩等）の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても１点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたＡに分類した。
3. B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C（水彩等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお、作品名の［　　］は当館で作成した仮題である。

5 図版の＊は藤本健八氏撮影のものである。

美術館日誌

平成21年

5月 1日(金) 特別展「未来をひらく福澤諭吉展」開会式
5月 2日(土) 特別展「未来をひらく福澤諭吉展」開催(6月14日まで)
5月17日(日) 第1回福岡ミュージアムウィーク開催(5月31日まで)
7月 1日(水) 夏期の開館時間延長開始(8月31日まで)
8月 8日(土) 開館30周年記念特別展「コレクション／コネクション一福岡市美術館の30年」展開催、同展開会式(9月27日まで)
8月12日(水) 超・夏休みこども美術館2009「美術館探検」(8月12日、15日、19日、22日、26日の5回)
9月25日(金) 平成21年度第1回美術館協議会
10月 3日(土) 常設展「仙厓展　九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション」開会式
10月 9日(金) 開館30周年記念特別展「生誕130年記念　冨田溪仙展」開会式
10月10日(土) 開館30周年記念特別展「生誕130年記念　冨田溪仙展」開催(11月23日まで)
10月22日(木) 美術資料収集審査会(古美術)
11月 3日(火) 開館記念日につき常設展観覧料無料
開館記念事業　図録フェア
11月16日(月) ボランティア総会
12月 1日(火) 新規ボランティアの募集(第七期生)開始(平成22年1月15日まで)
12月28日(月) 仕事納め

平成22年

1月 4日(月) 仕事始め
1月 5日(火) 特別展「トリノ・エジプト展」開催、同展開会式(3月7日まで)
1月29日(金) 美術資料収集審査会(近現代美術)
1月30日(土) 第11回所蔵品によるアートセミナー「黒田清輝を殴った男?!一吉田博」(1月30日、2月6日の2回)
2月 3日(火) 常設企画展「中国陶磁の5000年一森田コレクション」展開催(3月28日まで)
2月27日(土) 「第44回福岡市美術展」入賞・入選者発表
3月16日(火) 「第44回福岡市美術展」開催(3月28日まで)
3月20日(土) つくって!わかる?アート講座vol.4唐津焼「たたき形成」と絵付けでオリジナルの鉢を作ろう!(3月20日、27日の2回)
3月22日(月) 「第44回福岡市美術展」表彰式
3月26日(金) 平成21年度第2回美術館協議会

▲「第44回福岡市美術展」表彰式

特別企画展等

未来をひらく 福澤諭吉展

会期：平成21年5月2日(土)―6月14日(日)
会場：特別展示室A

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

日本を代表する啓蒙思想家であり、教育者である福澤諭吉(1835-1901)は、幕末～明治の激動の時代にあって思想・文化面で革新的な活動を展開し、日本の近代化に大きな足跡を残した。本展では福澤が創立した慶應義塾の創立150年を記念して、福澤の遺品、遺墨、書簡や慶應義塾関連資料に加え、福澤門下生が収集した美術コレクションを紹介し、その多方面にわたる活動の把握を試みた。特に福岡展では、地元ゆかりの資料を加えて、九州と福澤の紐帯を示した。

出品点数　386点

関連事業

▶オープン記念講演会「展覧会のみどころ」

第一部「股引きすがたの福澤諭吉－現実主義者の反骨－」
日　　時：平成21年5月2日(土)　午後1時30分～2時30分
講　　師：小室正紀氏(慶應義塾大学経済学部教授、同大学院経済学研究科委員長、慶應義塾福澤研究センター前所長)
聴講者数：200人

第二部「福澤門下の美術コレクション」
日　　時：平成21年5月2日(土)　午後2時45分～3時45分
講　　師：西岡康宏氏(東京国立博物館元副館長)
聴講者数：200人

主催等

主　　催：未来をひらく福澤諭吉展実行委員会
共　　催：テレビ西日本／ TVQ九州放送／大分合同新聞社／ TOSテレビ大分
後　　援：文化庁／九州・沖縄各県／同県教育委員会／福岡・中津各市／同市教育委員会／福岡県私学協会／(財)福澤旧邸保存会／(財)福岡文化財団／(財)福岡市文化芸術振興財団／(社)日本自動車連盟福岡支部／西日本リビング新聞社／ RKB毎日放送／ FBS福岡放送／ FM FUKUOKA ／ cross fm ／ LOVE FM／天神エフエム／西日本文化サークル連合／西日本新聞天神文化サークル
協　　賛：鹿島建設／損害保険ジャパン／大王製紙／大日本印刷／大和証券グループ／トヨタ自動車／久光製薬／九州電力／西日本シティ銀行／西日本鉄道／西部ガス／九電工／九州旅客鉄道／福岡地所／九州リースサービス／麻生専門学校グループ／大宰府天満宮／理研農産化工／九州勧業／ゼンリン／総合メディカル／薩摩酒造／山口銀行／西部電気工業／ヤマエ久野
協　　力：日本通運
特別協力：福岡三田会／九州・沖縄連合三田会／北九州三田会／山口県連合三田会／韓国三田会／ソウル三田会

▶ 記念講演会

「孤高なる芸術と独立自尊の精神」
日　時：平成21年5月9日(土)　午後1時30分～3時
講　師：千住真理子氏(ヴァイオリニスト)
聴講者数：246人

「福澤諭吉の見ていたもの」
日　時：平成21年5月10日(日)　午後1時30分～3時
講　師：林 望氏(作家・書誌学者)
聴講者数：153人

「私にとっての慶應」
日　時：平成21年5月13日(水)　午後2時30分～4時
講　師：石坂浩二氏(俳優)
聴講者数：246人

「グローバル社会の新展開と日本の行方」
日　時：平成21年6月5日(金)　午後1時30分～3時
講　師：竹中平蔵氏(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授、同大学グローバルセキュリティ研究所所長)
聴講者数：246人

「日本近代化の中の九州と慶應義塾」
日　時：平成21年6月7日(日)　午後1時30分～2時40分
講　師：小川原正道氏(慶應義塾大学法学部准教授)
聴講者数：100人

観覧料

一般・・・1,200円(1,000円)
大学生・・・1,000円(800円)
高校生・・・800円(600円)
中学生以下・・・無料

※(　)内は前売り料金
団体(20名以上)は、一般900円、大学生700円、高校生500円。
シルバー手帳提示者は前売り料金。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者とその介護者1名は無料。

開催日数　38日

観覧者数　20,862人

印刷物

ポスター(B1、B2、B3)
チラシ2種(A4、A3変形三つ折り)
ガイド『学問のすすめノート』(B5・17頁)
出品目録(A4・8頁)
図録(A4変形・168頁)

▲図録

関連記事

p.18を参照。

福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念

コレクション／コネクション—福岡市美術館の30年

会期：平成21年8月8日(土)—9月27日(日)
会場：特別展示室A、常設展示室、ロビー

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

福岡市美術館は本年開館30周年を迎えた。1974年より開始された収集活動の継続により、その収蔵作品は古美術・近現代美術併せて1万4千点を超えた。本展は、これら所蔵作品の代表的なもの400点あまりを、市民ギャラリー以外のすべての展示室を使って展示。このような大規模な所蔵品展は、開館以来初めてのこと。古美術、近現代美術の特徴を活かした展示に加え、時代やジャンルの枠を取り払ったテーマ別の展示も導入し、当館所蔵作品の多様性を演出し、来場者にもわかりやすく展示した。併せて、2階ロビーにおいて、中西信洋「Layer Movies」を開催。そして「美術館をひろげる・ふかめる」と題した様々な関連事業を展開。福岡市美術館をベースに、所蔵品と来場者のつながりをふかめ、ひろげる試みを行った。

出品点数

451点

関連事業

▶美術館をひろげる・ふかめる

(中西信洋：Layer Movies、トークセッション以外は平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業)

A.美術館をひろげる

1.中西信洋：Layer Movies

会　期：平成21年8月8日(土)～9月27日(日)
会　場：2階ロビー

▲中西信洋『Layer movie / Fukuoka line』

主催等

主　催：福岡市美術館／西日本新聞社／テレビ西日本
助　成：野村国際文化財団、(財)福岡文化財団
後　援：(財)福岡市文化芸術振興財団

観覧料

一般・・・500円(300円)
高・大生・・・300円(200円)
シルバー手帳提示者・・・300円

※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下の生徒・児童、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者とその介護者1名は無料。

開催日数

44日

観覧者数

12,486人

印刷物

ポスター(B2)
チラシ4種
　本展：A3二つ折り
　美術館をひろげる・ふかめる：A4、A4二つ折り
　Collection/Connection/Collaboration：A4
館内ガイド(A3四つ折り)
出品目録(A3二つ折り・8頁)
中西信洋：Layer Moviesリーフレット(B4変形二つ折り)
美術館をひろげる・ふかめる報告書(B5・47頁)

関連記事

p.18を参照。

美術館をひろげる・ふかめる報告書▲

2.Meet The Artists（アーティストと出会う）

・折元立身パフォーマンス

「Finger Dolls（指人形）」
会　　期：平成21年8月8日（土）　午後2時～2時30分
会　　場：1階ロビー

「パン人間」
日　　時：平成21年8月22日（土）　午後3時～5時
行進ルート：福岡市役所（集合場所・始点）～西鉄福岡駅コンコース～きらめき通り～大名1丁目～中央区役所前～地下鉄赤坂駅（地下鉄乗車）～大濠公園駅～大濠公園～福岡市美術館（終点・解散）
参 加 者：九州産業大学生19名
協　　力：九州産業大学芸術学部

▲折元立身「Finger Dolls」

・さとうりさ

「Risa Campaign vol.11 [working, now]」
期　　日：平成21年9月19日（土）
展　　示：午前9時30分～正午　福岡市美術館1階ロビー
スケジュール　午後1時～3時　福岡アジア美術館　7階ラウンジ
　　午後4時～6時　福岡県立美術館　玄関付近
協　　力：福岡県立美術館、福岡アジア美術館

▲さとうりさ「Risa Campaign vol.11 [working, now]」

3.灯明ウォッチング in 福岡市美術館

日　　時：平成21年9月13日（日）　午後6時～9時
協　　力：学校と社会をつなぐエージェンシー（ASAP）
監　　修：藤 浩志
コーディネーター：おがたたかひろ

・灯明制作ワークショップ

福岡市美術館
日　　時：平成21年9月5日（土）～12日（土）　午後1時～4時
会　　場：1階ロビー

草ヶ江公民会
日　　時：平成21年9月5日（土）　午前10時～正午
会　　場：草ヶ江公民館

▲灯明ウォッチング

B.美術館をふかめる

1.ジュニアキュレーター見参!

・企画・準備

期　　間：平成21年6月20日（土）～8月7日（金）
場　　所：講堂・教養講座室・実技講座室・常設展示室
参 加 者：市内の中学校10校より、全115名および教員13名

・展示

会　　期：平成21年8月8日（土）～9月27日（日）
会　　場：企画展示室

・ギャラリートーク

日　　時：平成21年8月8日（土）（練習）、8月9日（土）、22日（土）、23日（日）、9月5日（土）、6日（日）、12日（土）、13日（日）、26日（土）
　　いずれも 午後1時～3時30分
参加者数：250人

▲ジュニアキュレーター見参!

2.キッズコーナー　森のたね

期　　間：平成21年8月8日（土）～9月27日（日）
場　　所：特別展示室B（手前）
会場構成：オーギカナエ（美術家）
協　　力：九州大学産学連携センターデザイン総合部門

・ワークショップ「オーギカナエとふわふわペットをつくろう」

日　　時：平成21年9月12日（土）、21日（月・祝）いずれも午後1時～4時の随時
会　　場：キッズコーナー　森のたね
参加者数：9月12日 29人、9月21日 45人

▲キッズコーナー　森のたね

3.ガイドボランティアによるギャラリーツアー

日　　時：平成21年8月8日（土）～9月27日（日）　8月は午前11時から
　　9月は午前11時、午後2時からいずれも40分程度
会　　場：特別展示室A、常設展示室
参加者数：88人

▲ワークショップ「オーギカナエとふわふわペットをつくろう」

▶コレクション／コネクション　トークセッション

Part1　コレクション（講演会）

「福岡市美術館のコレクションの成り立ち」

日　　時：平成21年9月13日（日）　午後2時～3時40分
会　　場：講堂
講 演 者：安永幸一氏（福岡アジア美術館顧問）
　　田坂大蔵氏（福岡市博物館顧問）
聞 き 手：渡邊雄二（福岡市美術館学芸課長）
聴講者数：85人

Part2　コネクション（シンポジウム）

「美術館の『いま』そして『未来』」

日　　時：平成21年9月27日（日）　午後3時～5時15分
会　　場：講堂
パネリスト：桜井 武氏（熊本市現代美術館館長）
　　西本匡伸氏（福岡県教育庁社会教育課企画主幹）
　　福満葉子氏（長崎県文化振興課係長・学芸員）
司　　会：山口洋三（福岡市美術館学芸員）
聴講者数：50人

共催事業

▶「Collection/Connection/Collaboration」

主　　催：（財）福岡市文化芸術振興財団

・野村 誠　音楽ワークショップ「コレコネ組曲」

日　　時：平成21年8月18日（火）～20日（木）
　　午後3時30分～6時30分
会　　場：「コレクション／コネクション」展会場、実技講座室
参加者数：30人

・松岡涼子　舞踏パフォーマンス「時を渡る」

日　　時：平成21年8月30日（日）
　　午後4時～4時30分
会　　場：2階ロビー、インスタレーション展示部分

・selbst　パフォーマンス「集積―ダンスとモノたちと・・・」

日　　時：平成21年9月22日（火・祝）
　　午後2時～2時30分
会　　場：エスプラナード

・岩下 徹　即興ダンス「みみをすます」

日　　時：平成21年9月22日（火・祝）
　　午後4時～4時30分
会　　場：2階ロビー

▶福岡市美術館30周年記念提携公演
ギンギラ太陽's「翼をくださいっ！　幻の翼・震電」

主　　催：ギンギラ太陽's
共　　催：（財）福岡市文化芸術振興財団
日　　時：平成21年8月11日（火）～16日（日）
会　　場：講堂

福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念

生誕130年記念　冨田溪仙展

会期：平成21年10月10日(土)―11月23日(月・祝)
会場：特別展示室A

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

博多出身の日本画家・冨田溪仙(1879-1936)の生誕130年を記念する回顧展。京都で都路華香(つじ かこう)に師事した模索時代から、横山大観に評価され再興院展を舞台に自由奔放な作風を確立した時代を経て、詩情あふれる晩年の花鳥画に至る画業を代表作119点でたどった。初期の大作《若菜摘み》(京都国立近代美術館蔵)やフランスの詩人ポール・クローデルの依頼によりフランスへ寄贈された《神庫》(ポンピドゥー・センター蔵)などこれまでの溪仙展では紹介されなかった作品を含め、奇才の全貌に迫った。

出品点数　119点

関連事業

▶記念講演会

「冨田溪仙―人と作品」
日　時：平成21年10月24日(土)
　　午後2時～5時
講　師：古川智次氏
　　(福岡大学教授)
会　場：講堂
聴講者数：70人

「博多のこころと溪仙」
日　時：平成21年11月7日(土)
　　午後2時～4時
講　師：福間裕爾氏
　　(福岡市博物館学芸員)
会　場：講堂
聴講者数：55人

▶トーク＆鑑賞会

「あなたと探す溪仙の魅力」
日　時：平成21年10月31日(土)　午後1時30分～2時30分
　　平成21年11月11日(水)　午後1時30分～2時30分
講　師：山本香瑞子(福岡市美術館学芸員)
会　場：教養講座室
聴講者数：10月31日＝22人、11月11日＝16人

主催等

主　催：福岡市美術館／西日本新聞社／TVQ九州放送
協　力：エールフランス航空
助　成：(財)地域創造／(財)福岡文化財団
後　援：(財)福岡市文化芸術振興財団／九州旅客鉄道

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円)
高・大生・・・800円(600円)
小・中生・・・500円(300円)

※(　)内は前売りおよび20名以上の団体、シルバー手帳提示者料金。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者とその介護者1名は無料。

開催日数　39日

観覧者数　12,046人

印刷物

ポスター(B1、B2、B3)
チラシ(A4)
出品目録(A4・4頁)
図録(A4変形・234頁)

▲図録

関連記事

p.19を参照。

トリノ・エジプト展
—イタリアが愛した美の遺産—

会期：平成22年1月5日(火)—3月7日(日)
会場：特別展示室A

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

イタリアのトリノ・エジプト博物館は、エジプト国外では数少ない古代エジプトを専門とする博物館である。そしてその所蔵品は大英博物館やルーヴル美術館に比肩する世界屈指の質と量を誇っている。コレクション日本初公開となった本展では、世界的にも希少なツタンカーメン像や優美な姿を留めた石像などの大型彫像を、鏡と照明を用いたドラマチックな演出のなか展示し、そのほか鮮やかな彩色木棺、ミイラ、パピルスなども紹介した。

出品点数
約120点

関連事業

▶記念講演会

「エジプト美術の魅力」

日　　時：平成22年1月17日(日)　午後2時より
講　　師：近藤二郎氏(早稲田大学文学学術院教授)
会　　場：講堂

▶ワークショップ

「ヒエログリフを書いてみよう!」

日　　時：平成22年1月31日(日)　午後2時より
講　　師：村治笙子氏(古代オリエント博物館講師)
会　　場：教養講座室
参加者数：30人

主催等

主　　催：福岡市美術館／朝日新聞社／東映／テレビ西日本／フジテレビジョン
後　　援：外務省／文化庁／イタリア大使館／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／(財)福岡文化財団／福岡県PTA連合会／福岡市PTA協議会／福岡県子ども会育成連合会／福岡県教職員互助会／九州旅客鉄道／西日本鉄道／(社)日本自動車連盟福岡支部／cross fm／FM福岡／天神エフエム／LOVE FM
協　　賛：大塚製薬／大日本印刷
協　　力：ニッセイ同和損害保険／日本通運／日本貨物航空／西鉄グランドホテル／ソラリア西鉄ホテル
出品協力：トリノ・古代エジプト博物館財団
監　　修：近藤二郎氏(早稲田大学文学学術院教授)

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円)
高・大生・・・1,000円(800円)
小・中生・・・600円(400円)

※(　)内は前売り、20名以上の団体、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者の料金。

開催日数
54日

観覧者数
70,672人

印刷物

ポスター(B2、B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・210頁)

▲図録

関連記事

p.19を参照。

第44回福岡市美術展

会期：平成22年3月16日（火）―3月28日（日）
前　期：日本画・書・写真・デザイン　3月16日（火）―3月22日（月・祝）
後　期：洋画・彫刻・工芸　3月24日（水）―3月28日（日）
会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D

▲ポスターB2

▲ギャラリートーク

内　容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等７部門で、1,247人(1,448点)の応募があり、内710人(717点)が入選。このうち、市長賞など入賞作品は69点であった。

展示点数　753点

関連事業

▶入賞・入選者発表

期　　日：平成22年2月27日（土）
場　　所：1階ロビー

▶表彰式

期　　日：平成22年3月22日（月・祝）
会　　場：講堂
各　　賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞・福岡市美術連盟賞・福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、福岡市美術連盟奨励賞2点、奨励賞47点

▶ギャラリートーク

前　　期：平成22年3月22日（月・祝）　午後3時より
後　　期：平成22年3月28日（日）　午後3時より

主催等

主　　催：福岡市／福岡市教育委員会／福岡市美術展運営委員会
後　　援：福岡県／（社）福岡県美術協会／福岡文化連盟／（財）福岡市文化芸術振興財団／西日本新聞社／福岡市美術連盟

観覧料

一般・・・300円　高・大生・・・200円　小・中生・・・無料
※障がい者手帳所持者は無料

開催日数　12日

観覧者数　6,341人

印刷物

ポスター（B2２種）
開催要項（A3二つ折り）
図録（A4変形・48頁）

▲図録

関連記事

p.20を参照。

出品・入賞・入選状況

部門	出品合計（応募） 人員（人）	出品合計（応募） 点数（点）	展示 入賞・入選 人員（人）	展示 入賞・入選 点数（点）	展示 招待（人・点）	展示 点数（点）
日本画	39	43	32	33	3	36
洋画	303	370	211	211	5	216
彫刻	20	23	20	21	5	26
工芸	128	156	57	59	5	64
書	272	280	151	151	7	158
写真	343	431	180	180	6	186
デザイン	142	145	59	62	5	67
合計	1,247	1,448	710	717	36	753

※招待点数は審査員出品を含む。

常設展

■近現代美術

近現代美術室

世界・日本・九州の美術：20世紀から21世紀へ

会期：平成21年10月3日(土)ー平成22年5月9日(日)

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、主に20世紀に登場したさまざまな美術動向を代表する国内外の作品約60点を、時代別、傾向別にわかりやすく展示。

1. ラファエル・コランと近代日本の洋画
   ラファエル・コラン、黒田清輝、岡田三郎助、吉田博など
2. 20世紀前半の新たな展開
   モーリス・ユトリロ、ジョルジュ・ルオー、児島善三郎、佐伯祐三、レオナール・フジタ、古賀春江、三岸好太郎、坂田一男など
3. 20世紀後半、不安と絶望からの出発
   ジョアン・ミロ、マルク・シャガール、ポール・デルヴォー、海老原喜之助など
4. 「かたち」無きものをとらえる
   ニコラ・ド・スタール、ジャン・フォートリエ、ジャン・デュビュッフェ、マーク・ロスコ、辰野登恵子など
5. 「かたち」の彼方をとらえる
   サルヴァドール・ダリ、ジャック・モノリー、藤野一友、小牧源太郎など
6. 日常生活とアート
   アンディ・ウォーホル、シグマール・ポルケ、ジャン・ティンゲリー、草間彌生など

日本画工芸室

日本の四季

平成21年3月31日(火)ー5月31日(日)

制作技法は違っても、日本の四季は作品の主要な画題として取り上げられつづけている。春夏秋冬をテーマとした作品を、様々な作品ジャンルから紹介。洋画、日本画をとりまぜて14点を展示。

安井曾太郎《初春》1919年▶

ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)ー7月31日(金)

当館の収集方針の1つに、近代以後の九州出身・関係者の作品を収集することが挙げられている。この方針に基づき収集された近現代作品は3400点を超えている。本展では九州の地を自らのホームグラウンドと定め、中央の動向と距離を置きながら、独自の画風を切り開いた、主に戦後活躍した画家たちの油彩、日本画、水彩、彫刻59点を展示。

冨田溪仙展関連企画　もうひとつの溪仙展ー素描を中心にー

平成21年10月3日(火)ー11月29日(日)

「生誕130年記念　冨田溪仙展」の開催にちなみ、当館の所蔵品から溪仙の素描作品を中心とする26点を展示。特別展に出品される大作とはひと味異なる、もう一つの溪仙の魅力を紹介した。

キモノ美人

平成21年12月1日(火)ー平成22年1月31日(日)

現代生活では身につける機会がすっかり減った「キモノ」だが、それを身にまとう時、身にまとった人を目にする時、何とも言えない華やぎを感じる。本展では、あでやかな「キモノ」の人々を描いた作品16点を、所蔵品の中から展示した。

▲吉村忠夫《播磨の娘子》制作年不詳

舟山一男と藤崎孝敏(西本コレクション)

平成22年2月2日(火)ー3月28日(日)

道化師や女性の姿を静かに叙情的に描く舟山一男(1952-)と、激しい筆致と明暗によってモデルの内面をえぐり取るように表す藤崎孝敏(1955-)。それぞれの表現で人間の本質に迫ろうとする二人の画家の作品を、西本コレクションから17点紹介した。

小作品室

新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)ー5月31日(日)

平成20年度に福岡市美術館へご寄贈頂いた近現代美術作品の中から地元九州の作家や現代美術家による絵画・彫刻27点を小作品室に展示した。また、今回第6次目となった西本コレクションからは木下晋の鉛筆画やケーテ・コルヴィッツの版画など33点を企画展示室に展示した。

ケーテ・コルヴィッツ《民衆(連作『戦争』第7葉)》1922年▶

ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)ー7月31日(金)

日本画工芸室を参照。

長谷川潔と駒井哲郎

平成21年10月3日(火)ー11月29日(日)

日本を代表する二人の版画家、長谷川潔(1891-1980)と駒井哲郎(1920-1976)は、第二次世界大戦の後のパリでひと時の親交を結んだ。異国の縁で結ばれた二人の美術家が織りなす、静謐で深遠な銅版画の世界を、所蔵品30点により紹介した。

クリストの版画

平成21年12月1日(火)ー平成22年1月31日(日)

布を使って建築物や環境そのものを変貌させることで知られるクリスト(1935-)とジャンヌ・クロード(1935-2009)。二人のアート・プロジェクトにおいては、構想から実現に至るまでにドローイングや版画など様々な作品が生み出されてきた。本展では当館が所蔵するクリストの版画21点を紹介した。

シリーズ美術の技法Ⅱ　水彩

平成22年2月2日(火)ー3月28日(日)

最も親しみ深い絵画技法の一つといえる水彩に注目し、明治の水彩画から現代の作品まで、その多様な表現の魅力を探った。吉田博、ヴォルス、瑛九など21点を展示。

企画展示室

新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)ー5月31日(日)

小作品室を参照。

ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)ー7月31日(金)

日本画工芸室を参照。

古川吉重の軌跡ー米国に挑んだ抽象画家

平成21年10月3日(火)—11月29日(日)

平成20年に急逝した福岡市出身の画家、古川吉重(1921-2008)。若き日に渡米し、ニューヨークに拠点を置き、様々な困難を乗り越えて独特の抽象的画風を切り開いた。油彩、版画、ドローイングなど、画法も多岐にわたった。油彩、素描、版画15点で構成。

Around 30 ー美術家たちの30歳ー

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

2009年に福岡市美術館が開館30周年を迎えたことにちなみ、様々な世代の美術家たちが30歳前後で制作した作品を特集した。作家としてのスタイルを確立したり、転機を迎えたり、それぞれの歴史がかいま見える、美術家たちの「アラサー」に迫る11点を展示。

▲古賀春江《生誕》1924年 ＊

クロード・ワイズバッシュ展(西本コレクション)

平成22年2月2日(火)—3月28日(日)

和歌山市在住の西本宏氏による寄贈コレクションから、フランス北東部ティオンビル出身の画家、クロード・ワイズバッシュ(1927-)の作品を取り上げた。確かなデッサン力に裏打ちされた躍動感溢れるフォルムで、演奏家やダンサー、舞台上の人物などを描くワイズバッシュの作品から、油彩画8点、版画1点の計9点を選りすぐって展示した。

■古美術

古美術企画展示室

新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)—5月31日(日)

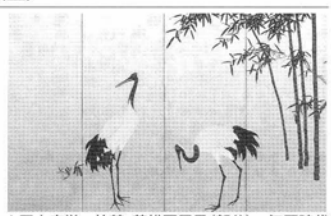
ガンダーラ様式(2〜4世紀)の仏像を含むインド、パキスタンの彫刻、タイで7〜18世紀に制作された塼仏、宋〜明時代・朝鮮王朝時代の青磁や古伊万里の磁器など、平成20年度に福岡市美術館へ寄贈された古美術作品84点を公開。

石造菩薩像頭部　パキスタン　2-3世紀▶

屏風絵の世界

平成21年6月2日(火)—7月31日(金)

当館所蔵品より、狩野派や雲谷派の水墨画、金地のあでやかなやまと絵、琳派の絵画、四条派の写生画などさまざまな作者によって描かれた、日本絵画のゆたかな表現が見られる代表的な屏風絵10点を紹介。



▲円山応挙　竹鶴・若松図屏風(部分)　江戸時代

九州大学法文学部85周年／文学部60周年記念事業・福岡市美術館30周年記念事業

仙厓展 九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション

平成21年10月3日(土)—11月29日(日)

九州大学文学部が所蔵する中山森彦博士が収集した仙厓作品30点を紹介。中山博士は京都大学出身で九州大学医学部の創設に関わり、公務のかたわら仙厓の書画を研究し、作品を収集した。大学外での数少ない公開となった。

主催:九州大学文学部／福岡市美術館

・関連事業

講演会「仙厓と中山森彦博士」

日時:平成21年10月10日(土)　午後2時〜4時

講師:中山喜一朗氏(福岡市博物館学芸員)

　　後小路雅弘氏(九州大学大学院教授)

会場:講堂

聴講者数:102人

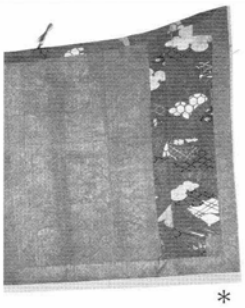
・印刷物:案内はがき(長形)

　　リーフレット(A4・15頁)

染織名品展

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

当館所蔵の国内外の染織の名品をえりすぐって紹介した。海外からコプト裂、インド更紗、カンボジアの更紗や紋織、国内からは黒田家伝来の陣羽織や帷子、松永コレクションの辻が花、沖縄の紅型や絣など、25点を展示。



辻が花染九條袈裟　桃山時代▶

＊

田中丸コレクション(コーナー展示)

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

福岡市美術館に寄託されている田中丸コレクションは、唐津、高取、上野、八代、薩摩、現川など、九州の主要な窯を網羅した近世陶器で構成される。その中から、茶碗、茶入、水指、向付といった茶道具の優品を常時15〜20点選んで展示した。

松永記念館室

春の名品展

平成21年3月31日(火)—5月31日(日)

水墨画や染付といったモノトーン(単色)の作品は、色彩は少ないながら表現された世界はさまざまで、豊かなイメージを作り出す。日本、中国、韓国の書、絵画、工芸品を15点紹介。

壺の美

平成21年6月2日(火)—7月31日(金)

食糧や飲料を貯蔵・運搬するための容器である壺は、実用品としての機能を超え、形や装飾文様を愛で楽しむ対象として、今や多くの陶磁器愛好家の心を捉えてやまない器種のひとつである。本展では、松永コレクションを中心に古今東西の壺の優品16点を紹介した。

猿投灰釉壺　平安時代　重要文化財▲

秋の名品展

平成21年10月3日(土)—11月29日(日)

松永コレクションは、茶道具を核としながら、古今東西の優れた美術・工芸品を多様に含んでいることに特徴がある。本展は、絵画、彫刻、漆工、金工など、各ジャンルから選んだ代表的な作品17点により、松永コレクションのもつ多彩な魅力を紹介した。

書と語る

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

大燈国師、沢庵宗彭、北条泰時、千利休など鎌倉時代から江戸時代までの禅僧の墨跡や武士や茶人の手紙、詩歌などの書16 点を展示。墨と筆によって表された書き手の個性を見出すほか、手紙や詩歌の内容を読み取ることによる書の魅力を紹介。

妙総大師道潜墨蹟(与淑通教授尺牘)▲
北宋時代

東光院仏教美術室

薬王密寺東光院(博多区吉塚)より寄贈された重要文化財25点を含む仏像を常時展示。薬師如来立像、十二神将立像(平安時代後期・南北朝時代)など。

東光院の仏画—涅槃図ほか(コーナー展示)

平成22年1月6日(水)—2月14日(日)

涅槃会(ねはんえ)の時節にちなみ、仏涅槃図をはじめとする東光院伝来の仏画を、コーナー展示にて5点展示。

観 覧 料:一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、中学生以下無料。福岡市発行のシルバー手帳および北九州市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。また、鹿児島市民および熊本市民の65歳以上の方で、年齢・住所を確認できる公的機関発行の証明書提示者は無料。( )内は20名以上の団体料金。

観覧者数:p.52を参照。

関連記事:p.20を参照。

中国陶磁の5000年 森田コレクション

会期：平成22年2月3日（水）—3月28日（日）
前　期：2月3日（水）—3月7日（日）
後　期：3月9日（火）—3月28日（日）
会場：古美術企画展示室、松永記念館室

▲ポスターB2

▲会場風景

内　容

久留米市出身の会社経営者・森田曉（もりたさとる）氏より平成20年3月に寄贈された「森田コレクション」は、中国歴代王朝の時代を広く網羅した陶磁器を中心に、インダス川流域の土器類、中央アジアの金工・石製品など多様なジャンルを含む計263件（336点）のコレクションである。本展は、この大規模なご寄贈を顕彰し、市民の方々に初公開する展覧会で、古美術企画展示室・松永記念館室の両室を使い、展示替えをしながら全作品を出品した。

出品点数　263件　336点

関連事業

▶学芸員によるギャラリートーク

日　　時：平成22年2月27日（土）、3月13日（土）　午後2時より
講　　師：後藤 恒（福岡市美術館学芸員）
会　　場：古美術企画展示室、松永記念館室

主催

福岡市美術館

観覧料

常設展示観覧料（p.16参照）

開催日数　47日

観覧者数

常設展示室入場者数（p.52参照）

印刷物

ポスター（B2）
チラシ（A4）

関連記事

p.20を参照。

▲図録

展覧会関連記事

■特別企画展等

未来をひらく　福澤諭吉展

日本経済新聞（夕刊）	H21.3.19	諭吉夫妻の肖像写真／福岡で5月2日から福澤諭吉展／「中津留別之書」など紹介
西日本新聞（朝刊）	H21.4.16	本社の事業／「未来をひらく　福澤諭吉展」／幕末から明治を生き抜いた思想家の足跡をたどる／来月2日から福岡市美術館で
西日本新聞（朝刊）	H21.4.22	「福澤諭吉の精神」を語る／福岡市美術館　千住さん、竹中氏ら講演／来月からの展覧会に合わせ
西日本新聞（夕刊）	H21.4.23	ここ行こう／イベント／日本の近代化に大きな足跡を残した／「未来をひらく　福澤諭吉展」／来月2日―6月14日、福岡市美術館／遺品、著書など思想と活動紹介
西日本新聞（朝刊）	H21.4.26	九州発の「独立自尊」／思想家の歩みたどる／未来をひらく　福澤諭吉展／来月2日―6月14日、福岡市美術館／慶応義塾塾長　安西祐一郎氏に聞く　日本を近代に導いた一大原動力／慶応大アート・センター前所長　前田富士男・名誉教授　批判精神　多角的に紹介／慶応ボーイ・石坂浩二さんが音声ガイド
西日本新聞（朝刊）	H21.4.28	「福澤諭吉展」の逸品―1／愛用の股引／胸張って一市民貫く／（慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之）
西日本新聞（朝刊）	H21.4.29	「福澤諭吉展」の逸品―2／朝鮮留学生／「脱亜論」者の行動は／（慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之）
西日本新聞（朝刊）	H21.5.1	「福澤諭吉展」の逸品―3／西南戦争／西郷の「抵抗」を擁護／（慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之）
西日本新聞（朝刊）	H21.5.2	「福澤諭吉展」の逸品―4／活版印刷／出版を通じて近代化／（福岡市美術館学芸員、岩永悦子）
西日本新聞（朝刊）	H21.5.2	きょうから福澤諭吉展／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.5.3	諭吉展　初日から盛況／来場者「遺品見て本人身近に」／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.5.5	「福澤諭吉展」の逸品―5／師の薫陶／美術品を私物にせず／（福岡市美術館学芸員、岩永悦子）
読売新聞（朝刊）	H21.5.8	諭吉の遺品など300点／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.5.9	「独立自尊」自ら実践／身分制度「親の敵」　家族に「さん」づけ　不遇の人々と交流／慶応義塾福澤研究センター都倉武之専任講師　人物像に迫る／来月14日まで福澤諭吉展　福岡市美術館
読売新聞（夕刊）	H21.5.19	考2009／言論の付和雷同　批判／福沢の気概「丁丑公論」
西日本新聞（朝刊）	H21.5.20	諭吉展の見どころ紹介／本紙文化サークル　福岡市で24日講座
西日本新聞（朝刊）	H21.5.22	春秋
西日本新聞（朝刊）	H21.5.27	高い理想　人間味あふれ／「未来をひらく　福澤諭吉展」／福岡市美術館　来月14日まで
西日本新聞（朝刊）	H21.5.28	福澤諭吉展を見て《上》／「独立自尊」に強い影響／バイオリニスト　千住真理子さん
西日本新聞（朝刊）	H21.5.29	福澤諭吉展を見て《中》／見渡せる多才な面／作家・書誌学者　林　望さん
西日本新聞（朝刊）	H21.5.30	福澤諭吉展を見て《下》／人間像をとらえる／俳優　石坂浩二さん
西日本新聞（朝刊）	H21.6.3	福澤諭吉展１万人突破／入場者の西山さんに記念品／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.6.10	風車／仰ぎ見る福澤諭吉／（中洲次郎）
慶應義塾福澤研究センター通信		「福澤諭吉展」福岡／「未来をひらく　福澤諭吉展」福岡での試み／岩永悦子（福岡市美術館　学芸員）

コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年

西日本新聞（夕刊）	H21.7.23	福岡市美術館の30年　コレクション／コネクション展／来月8日から、福岡市美術館／代表的所蔵品400点を一堂に
西日本新聞（朝刊）	H21.8.6	本社の事業／仁清、ダリ、ミロ、大観、繁二郎など　代表的400点／8日から30周年記念展
西日本新聞（朝刊）	H21.8.9	福岡市美術館30年記念展
西日本新聞（朝刊）	H21.8.20	美術を広げる深める　福岡市美術館30周年　上／テーマ別に魅力再発見／（福岡市美術館学芸員・正路佐知子）
西日本新聞（朝刊）	H21.8.21	美術を広げる深める　福岡市美術館30周年　中／館内外で「非日常」表現／（福岡市美術館学芸員・山口洋三）
西日本新聞（朝刊）	H21.8.22	美術を広げる深める　福岡市美術館30周年　下／子や親の居場所を創造／（福岡市美術館学芸員・岩永悦子）
西日本新聞（朝刊）	H21.8.23	それゆけパン人間／天神で芸術家ら行進
長崎新聞	H21.8.29	見てきました／（ふ）
西日本新聞（朝刊）	H21.9.2	前衛作品と古美術"同居"　中学生の視点で作品選択／『お宝』展示に工夫随所／福岡市美術館30念記念展／（都市圏総局・松尾孝司）
毎日新聞（朝刊）	H21.9.7	福岡市美30周年館蔵品展／型破りな発想/組み合わせの妙／（渡辺亮一）
西日本新聞（朝刊）	H21.9.10	文化／展覧会　コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年／"美術のるつぼ"で再発見／（藤原賢吾）
西日本新聞（夕刊）	H21.9.12	彩事館／西日本新聞社の事業／多様な400点を展示／「コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年」
朝日新聞（夕刊）	H21.9.18	厳選400点古今作品そろう／福岡市美術館の30年展
ぐらんざ9月号 No.118		ART／福岡市美術館開館30周年記念企画／ありものの収蔵品を世に問う／廣崎靖邦＝選・文

新美術新聞 No.1191（2009年8月1・11日合併号	北から南 museum36／ひろがるコレクション、ふかまるコレクション／福岡市美術館
シティ情報ふくおかNo.692 （2009年8月28日発行）	今月のエンターテイメント Art／コレクション／コネクション－福岡市美術館の30年－／福岡市美術館30年目の集大成／古美術から近現代美術まで秘蔵作品を大公開!!

生誕130年記念　冨田溪仙展

朝日新聞（夕刊）	H21.9.9	be evening／水曜アート／「神庫」冨田溪仙／なぜパリの美術館に?／美の履歴書123／（田中三蔵）
西日本新聞（朝刊）	H21.9.27	新・何しようと　福博であい談／鉄斎との遭遇　溪仙新機軸／（都市圏総局・川上弘文）
西日本新聞（朝刊）	H21.10.10	生誕130年　冨田溪仙展／きょうから福岡市美術館
西日本新聞（夕刊）	H21.10.10	博多が生んだ日本画の奇才／生誕130年　冨田溪仙／11月23日まで福岡市美術館
朝日新聞（夕刊）	H21.10.14	カルチャー福岡　冨田溪仙展
西日本新聞（朝刊）	H21.10.14	日本画の奇才　冨田溪仙展より　上／躍動感、色彩美あふれ／麒麟（きりん）・鳳凰（ほうおう）　櫛田神社蔵（1924年）／（福岡市美術館　学芸員　山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）	H21.10.15	冨田溪仙展　講演など開催／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.10.15	日本画の奇才　冨田溪仙展より　中／神秘的でユーモラス／神庫（じんこ）　ポンピドゥー・センター蔵（1926年）／（福岡市美術館　学芸員　山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）	H21.10.16	日本画の奇才　冨田溪仙展より　下／溪仙花鳥画の集大成／万葉春秋　京都国立近代美術館蔵（1936年）／（福岡市美術館　学芸員　山本香瑞子）
西日本新聞（朝刊）	H21.10.19	花時計／（松尾）
西日本新聞（朝刊）	H21.10.21	春秋
西日本新聞（夕刊）	H21.10.29	ここ行こう／PICK UP／日本画家　冨田溪仙展／来月23日まで、福岡市美術館／自由な筆遣いと鮮麗な色彩
毎日新聞（朝刊）	H21.11.2	冨田溪仙生誕130年回顧展／青が創出するリリシズム／（渡辺亮一）
西日本新聞（朝刊）	H21.11.4	福岡ワイド／ミュージアムめぐり68　学芸員のいちおし／福岡市美術館／雲ヶ畑の鹿／躍動の鹿に命のリズム／（山本香瑞子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.11.5	文化／「魂のうるおい」―冨田溪仙と詩人大使クローデル　芳賀　徹／生きる喜び、よみがえらせ／（はが・とおる＝比較文学者、岡崎市美術博物館館長）
西日本新聞（朝刊）	H21.11.24	冨田溪仙展が閉幕
福岡モン11月号vol.25		EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才　冨田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、冨田溪仙　福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念　生誕130年記念　冨田溪仙展
北九州おい街11月号Vol.381		EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才　冨田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、冨田溪仙　福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念　生誕130年記念　冨田溪仙展
月刊くるめ11月号Vol.371		EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才　冨田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、冨田溪仙　福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念　生誕130年記念　冨田溪仙展
博多のうわさ11月号		お客様横丁／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念　生誕130年記念　冨田溪仙展
九州王国11月号No.27		画家の見た風景［二十七］／「神庫」1926年／冨田溪仙（1879-1936）／博多っ子作品　パリより凱旋す／島尾ナツヲ・文

トリノ・エジプト展

朝日新聞（朝刊）	H21.12.28	トリノ・エジプト展　1月5日から福岡市美術館／ツタンカーメンが来た／19世紀、サボイア家が収集／所蔵品３万点超／歴史から消し去られた少年王
朝日新聞（朝刊）	H22.1.1	トリノ・エジプト展５日開幕へ彫像開封／福岡市美術館
朝日新聞（朝刊）	H22.1.4	「エジプト展」あす開幕／ツタンカーメン王像／トリノ博物館初出品
朝日新聞（朝刊）	H22.1.4	古代の秘宝ずらり／トリノ・エジプト展／ツタンカーメン像、来日
朝日新聞（夕刊）	H22.1.5	トリノ・エジプト展開幕
朝日新聞（朝刊）	H22.1.6	時を超えて"対面"／古代エジプトに感動／福岡市美術館で開幕
朝日新聞（朝刊）	H22.1.15	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／秘蔵の美術コレクション、ルーブルに匹敵
朝日新聞（朝刊）	H22.1.17	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／彫像ギャラリー、ハリウッドとコラボ

朝日新聞(朝刊)	H22.1.18	展示品の魅力・歴史／早大教授が記念講演／トリノ・エジプト展
朝日新聞(朝刊)	H22.1.19	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／少年王ツタンカーメンの数少ない彫像
朝日新聞(朝刊)	H22.1.20	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／ミイラ埋葬、死後の再生・復活のため
西日本新聞(朝刊)	H22.1.20	古代エジプト体感／福岡市美術館で「トリノ・エジプト展」／彩色木棺、ミイラなど展示
朝日新聞(朝刊)	H22.1.22	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／３重になった美しい人型の彩色木棺
朝日新聞(朝刊)	H22.1.23	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／死後に掘り返され再利用された女性の棺
朝日新聞(朝刊)	H22.1.24	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／死後の世界の王、オシリス神
朝日新聞(朝刊)	H22.1.26	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／冥界への案内書「死者の書」
朝日新聞(朝刊)	H22.1.27	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／生前の暮らしを語るピンセット
朝日新聞(朝刊)	H22.1.29	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／「召使」を納めたシャブティ・ボックス
朝日新聞(朝刊)	H22.1.30	トリノ・エジプト展　福岡市美術館3月7日まで／死後の世界へ死者を運ぶ葬送用の船
朝日新聞(朝刊)	H22.2.10	トリノ・エジプト展　入場３万人
西日本新聞(夕刊)	H22.2.18	イタリアが愛した美の遺産／「トリノ・エジプト展」／来月７日まで福岡市美術館／ナポレオン遠征時の収集品中心
朝日新聞(朝刊)	H22.2.27	トリノ・エジプト展／入場者が５万人突破

第44回福岡市美術展

毎日新聞(朝刊)	H22.2.27	福岡市美展／入賞・入選者決まる／７部門に1448点応募／(鈴木美穂)
西日本新聞(朝刊)	H22.2.27	福岡市美術展／最高賞に前隈さん
西日本新聞(朝刊)	H22.3.1	福岡市美術展入賞者
西日本新聞(朝刊)	H22.3.2	福岡市美術展入選者　上
西日本新聞(朝刊)	H22.3.3	福岡市美術展入選者　下
読売新聞(朝刊)	H22.3.12	特別賞に前隈さん(洋画)／福岡市美術展／入賞・入選717点決まる
朝日新聞(朝刊)	H22.3.24	福岡市美展　前隈さん特別賞

■常設展

新収蔵作品展

読売新聞(朝刊)	H21.4.23	個人寄贈の収蔵品紹介　福岡市美術館／(梅野健吾)

超・夏休みこども美術館2009

西日本新聞(朝刊)	H21.8.15	ミュージアムめぐり60　学芸員のいちおし／福岡市美術館／夏休みこども美術館／目で味わう食の世界／(鷲頭桂・福岡市美術館学芸員)
毎日新聞(朝刊)	H21.8.16	美術館探索楽しむ／福岡市で親子連れら／(丸山宗一郎)
朝日新聞(朝刊)	H21.8.30	こんなアイス　食べてみたいな／福岡市美術館　食をテーマに展覧会

■常設企画展

中国陶磁の5000年　森田コレクション

西日本新聞(朝刊)	H22.1.26	ミュージアムめぐり78　学芸員のいちおし／福岡市美術館／森田コレクション／中国陶磁の5000年網羅／(後藤恒・福岡市美術館学芸員)
西日本新聞(朝刊)	H22.3.6	森田コレクション初公開／福岡市美術館／久留米出身の森田さん／古美術学びこつこつ収集／「故郷への恩返し」と寄贈／(松尾孝司)
北九州おい街2月号 No.384		EVENT&ART PRESS／福岡市美術館の収蔵品に新たに加わった森田コレクション。全点を一挙初公開！／中国陶磁の5000年　森田コレクション

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成９年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークをはじめ、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリーツアー（スクールツアー・プログラム）

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによるギャラリートークを行っている。平成 21 年度の学校利用は以下の通り。

スクールツアー・プログラムの利用学校

平成 21 年

4月 7日(火)	福岡インターナショナルスクール	児童27人	引率3人
			保護者7人
5月14日(木)	当仁小学校5年生	児童95人	引率4人
6月 5日(金)	壱岐丘中学校2年生(＊)	生徒73人	引率5人
6月11日(木)	青葉中学校2年生(＊)	生徒127人	引率5人
6月12日(金)	姪浜中学校1年生(＊)	生徒333人	引率16人
6月25日(木)	友泉中学校(＊)	生徒305人	引率9人
7月 2日(木)	当仁小学校4年生	児童105人	引率3人
9月 8日(火)	福岡雙葉小学校付属幼稚園	園児81人	引率3人
9月 9日(水)	香椎第一中学校2年生(＊)	生徒197人	引率15人
9月10日(木)	東住吉中学校1年生	生徒74人	引率6人
10月21日(水)	草ヶ江小学校2年生	児童70人	引率3人
10月22日(木)	笹丘小学校3年生	児童82人	引率4人
10月23日(金)	前原小学校5年生	児童115人	引率4人
10月27日(火)	長丘小学校6年生	児童152人	引率5人
10月27日(火)	愛宕浜小学校6年生	児童96人	引率4人
10月30日(金)	別府小学校5年生	児童146人	引率4人
11月25日(水)	簀子小学校5年生	児童22人	引率1人
11月25日(水)	内浜中学校2年生	生徒240人	引率10人
11月26日(木)	金山小学校5年生	児童54人	引率2人
12月 9日(水)	玄洋小学校5年生(＊)	児童116人	引率5人
12月11日(金)	城原小学校5年生	児童87人	引率4人

平成 22 年

1月14日	周船寺小学校５年生	児童63人	引率2人
1月15日	周船寺小学校５年生	児童64人	引率2人
1月15日	那珂南小学校５年生	児童84人	引率3人
1月20日	城南中学校２年生(＊)	生徒240人	引率7人
1月21日	東花畑小学校５年生	児童69人	引率2人
1月22日	野多目小学校５年生	児童117人	引率3人
1月26日	長住小学校５年生	児童101人	引率4人
1月27日	七隈小学校５年生	児童82人	引率4人
2月 2日	原北小学校５年生	児童113人	引率3人
2月 4日	横手中学校	生徒8人	引率3人
2月 5日	城香中学校１年生(＊)	生徒95人	引率7人
2月 9日	柏原小学校５年生	児童98人	引率3人
2月10日	愛宕浜小学校５年生	児童93人	引率3人
2月12日	松崎中学校１年生(＊)	生徒143人	引率7人
2月17日	屋形原特別支援学校	生徒9人	引率9人
2月23日	東箱崎小学校５年生	生徒70人	引率3人
2月23日	元岡小学校５年生	児童110人	引率6人
2月24日	壱岐南小学校５年生	児童79人	引率2人
2月25日	香住ヶ丘小学校５年生	児童139人	引率5人
3月 2日	有田小学校５年生	児童91人	引率4人
3月 3日	平尾小学校５年生	児童170人	引率5人
3月 4日	姪北小学校５年生	児童106人	引率4人
3月 4日	粕屋中央小学校６年生	児童97人	引率4人
3月 9日	筑紫丘中学校２年生(＊)	児童169人	引率5人

(＊)は「施設等を利用した体験学習」による来館団体

中学校交流ワークショップ2009「ジュニアキュレーター見参！」

■企画・準備

日　　程：平 成21年6月20日（土）、27日（土）、7月4日（土）、11日（土）、18日（土）、22日（水）、23日（木）、24日（金）、8月6日（木）、7日（金）、8日（土）の計11回

場　　所：講堂、教養講座室、実技講座室、常設展示室

参 加 者：青葉中学校、内浜中学校、香椎第一中学校、警固中学校、筑紫丘中学校、箱崎清松中学校、原中学校、東住吉中学校、舞鶴中学校、和白丘中学校（50音順・全て福岡市立）の生徒115人

■展示

「心〜今私たちが考えなきゃいけないこと〜」(8班 SMILE MUSIC)および各班の展示プラン・マケット展示

会　　期：平成21年8月8日(土)ー9月27日(日)

会　　場：企画展示室

■ギャラリートーク

日　　程：平成21年8月9日(土)、22日(土)、23日(日)、9月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)26日(土)
いずれも午後1時〜3時30分

場　　所：企画展示室ほか2階常設展示室内

参加者数：250人

内　　容：本年は、福岡市美術館開館30周年記念特別展「コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年」関連事業のひとつとして、市内の中学校より生徒を募り、当館の所蔵品を使って企画展を考えるワークショップ「ジュニアキュレーター見参！」を実施した。「こころ」という大テーマをもとに、10班にわかれてそれぞれ企画した展示プランを発表・審査し、グランプリを獲得した班の展示プランを実際の所蔵品を使って展示した。あわせて、各班のプランもマケットとパネルにより紹介した。また、会期中は中学生が来場者に展示を案内するギャラリートークも実施した。

超・夏休みこども美術館2009

こどもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成21年度は「食」をテーマに、近現代美術・古美術双方の所蔵品の展示を行った。また、会期については「コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年」展(p. 8参照)の会期にあわせて開催した。

こどもギャラリー「目であじわおう！ふしぎでアートなレストラン」

会　　期：平成21年8月8日(土)ー9月27日(日)

会　　場：特別展示室B（奥）

観 覧 料：無料

来場者数：9,836人

内　　容：我々の生活にもっとも身近なもののひとつである「食」を切り口に、近現代美術・古美術双方のコレクションから合計22点の作品を展示した。こどもたちの鑑賞を支援するものとしてパネルやリーフレットを作成、配付した。

美術館探検

日　　時：平成21年8月12日(水)、15日(土)、19日(水)、22日(土)、26日(水)の午前10時、午後1時。一般の来館者を対象に、22日(土)午後5時30分にも実施した。

定員・対象：小学生対象。各回の定員は15人。

参加者数：246人

参 加 費：中学生以下は無料。高・大生以上の参加者は「コレクション／コネクション」展観覧料が必要。

学生ｱｼｽﾀﾝﾄ：大学生34名

内　　容：普段来館者が入ることの出来ない美術館のバックヤードを、学生アシスタントの案内によって、こどもたちが探検する。作品が展示室に飾られる前後にどのように管理されているのか、どのような人々がバックヤードで働いているのかを知ってもらい、その後、アシスタントとともにこどもギャラリーで作品鑑賞を行う。

ギャラリーツアーforキッズ！夏休み特別版

日　　時：平成21年8月8日(土)～8月30日(日)の休館日を除く毎日
午後2時30分から約40分
参 加 費：中学生以下は無料。保護者は「コレクション／コネクション」展観覧料が必要。
参加者数：94人

内　　容：当館のギャラリーガイドボランティアによる、こども向けのギャラリートーク。ボランティアが「コレクション／コネクション」展の会場で3点の作品とテーマを選び、こどもと会話をしながら分かりやすく作品を案内した。保護者等、大人の参加も可とした。

夏休みこどもとしょかん

日　　時：平成21年8月8日(土)～9月27日(日)
場　　所：特別展示室B（手前）

内　　容：p. 25を参照。

絵からとびだした?!コラボレーション・メニュー

日　　時：平成21年8月8日（土）～9月27日（日）
場　　所：カフェテラスなかむら

内　　容：こどもギャラリー展示作品（仙厓《円相図》、上田薫《アイスクリームB》、篠原有司男《ドリンク！》、中川紀元《静物》）にちなんで、4つのメニューを期間限定で提供した。

講座

第11回所蔵品によるアートセミナー
「黒田清輝を殴った男 ?! ー 吉田博」

講　　師：安永幸一氏（福岡アジア美術館顧問）
演　　題：「黒田清輝を殴った男といわれる吉田博の波乱に富んだ人生 ー福岡市美術館所蔵の作品を中心にしてー」
日　　時：第1回　平成22年1月30日(土)　午後2時～3時30分
第2回　平成22年2月 6日(土)　午後2時～3時30分
会　　場：教養講座室
受講者数：各回33人（2回連続講座）

内　　容：美術館の所蔵作品をじっくりとみながら、専門家の話を聞くこのシリーズ。今年は、久留米市出身の洋画家・吉田博(1876-1950)をとりあげた。主流と反主流、官学派と在野派、新派と旧派といった画壇構図の中で、反主流の代表として孤軍奮闘した九州男児・吉田博の反骨魂に満ちた波乱の人生を、作品を鑑賞しながら、講演を聴いた。

つくって！わかる？アート講座vol.4
「唐津焼：『たたき成形』と絵付けでオリジナルの鉢を作ろう！」

日　　時：平成22年3月20日（土）、27日（土）午後1時～4時
会　　場：<20日>　教養講座室、実技講座室　<27日>土師窯（福岡県嘉穂郡桂川町）
講　　師：八児紫石氏（陶芸家）、久保山 炎氏（田中丸コレクション学芸員）
対象・定員：15歳以上、10人
受講者数：10人

内　　容：参加者に、実技を通して、美術の表現や技法に対する理解を深めていただく講座。今回は八児紫石氏を講師に招き、唐津焼独特の技法である「たたき」に挑戦し、鉢を制作した。窯元を訪問し、絵付けも行った。また初日の冒頭には、久保山炎氏による唐津焼入門のレクチャーを行った。

開館記念事業

図録フェア

日　　時：平成21年11月3日(火・祝)　午前10時～午後5時
会　　場：2階ロビー

内　　容：平成20年度までに福岡市美術館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを定価の2割～5割引きで販売した。

第1回福岡ミュージアムウィーク

福岡市では、市民の方々に福岡やアジアの歴史、伝統、芸術、文化により広く、深く興味を持っていただくとともに、多くの方々に美術館、博物館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5月18日)の趣旨に賛同し、美術館、アジア美術館、博物館が初めて3館連携し、様々な事業を企画・実施したものである。

期　　間：平成21年5月17日(日)～31日(日)

常設展観覧料無料

観覧者数：3,557人(期間中)

スタンプラリー

応募者数：257人

内　　容：3館を巡りスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

講演会「美術館の裏側～10倍楽しむために～」

日　　時：平成21年5月31日(日)　午後2時～3時30分
講　　師：渡邊雄二(福岡市美術館学芸課長)
会　　場：教養講座室
聴講者数：20人

▲講演会

バックヤードツアー

日　　時：平成21年5月31日(日)　午前11時～正午
参加者数：40人

ギャラリーツアー

日　　時：期間中1日2回、午前11時、午後2時から40分間
場　　所：常設展示室
参加者数：93人

▲バックヤードツアー

連携事業

レストランやブックショップでの割引サービス

印 刷 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)、スタンプ台紙(A4)

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により受け入れた。実習期間は平成21年5月1日から同年11月30日のうち10日間。

■西南学院大学
黒肱昭裕　国際文化学部国際文化学科　4年
松尾まゆ　文学部外国語学科フランス語専攻　4年

■九州産業大学
田平真里奈　芸術学部デザイン学科　4年
梶原美里　国際文化学部国際文化学科　4年

■福岡大学
山川静香　人文学部文化学科

■筑紫女学園大学
佐藤 純　文学部日本語・日本文学科　4年
原田祐美　文学部日本語・日本文学科　4年

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度2校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成21年7月1日(水)	福岡市立城南中学校	3名
平成21年9月9日(水)	福岡市立平尾中学校	5名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集した。

■特別展関連図書特集

・平成21年 4月28日(火)―6月14日(日)「未来をひらく　福澤諭吉展」関連
・平成21年 8月 8日(土)―9月27日(日)「コレクション／コネクション―福岡市美術館の30年」関連
・平成21年10月 6日(火)―11月23日(月・祝)「生誕130年記念　冨田溪仙展」関連
・平成22年 1月 5日(火)―3月7日(日)「トリノ・エジプト展」関連

■読書室企画図書特集

夏休みこどもとしょかん
「よんで、みて、あじわおう！アートな本の世界」

会　　期：平成21年8月8日(土)―9月27日(日)
会　　場：特別展示室B(手前、キッズコーナー内)

内　　容：超・夏休みこども美術館2009こどもギャラリー「目であじわおう！ふしぎでアートなレストラン」の開催に関連して、美術の中の「食」に関するものや所蔵品関連の絵本を、また、会場が乳幼児から大人まで幅広い年齢層が訪れるキッズコーナー内であったことから、美術について興味を持ち、理解を深めてもらえるような児童書や絵本に加えて、美術に関する一般書等も配架した。配架した42冊の書籍はリストを作成して会場で配布し、さらにそのうち3冊の絵本について同展のワークシートの巻末に紹介文を掲載した。

ボランティア活動

■ボランティアについて

当館では、昭和 51 年にボランティアを募集し、昭和 54 年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティアと美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、それを通して社会に貢献すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれる。

・ボランティア研修

ボランティア活動に関するさまざまな情報交換、他館のボランティアとの交流と活動見学、作品案内の技術向上や美術一般に対する学習等のため、外部の施設を訪問し研修を実施している。今年度は、下関市立美術館と下関市立しものせき水族館海響館の 2 館にて見学・交流をした。

期　　日：平成 21 年 9 月 26 日(土)
研 修 先：下関市立美術館、下関市立しものせき水族館海響館
参 加 者：福岡市美術館ボランティア　7名、学芸課　鷲頭 桂、中原千代子

・ボランティア総会

ボランティア全体の運営にかかわる重要事項、各ボランティアの活動の報告等のため、ボランティア総会を実施している。平成 21 年度は 1 回開催した。

期　　日：平成 21 年 11 月 16 日(月)
場　　所：教養講座室

・「福岡市教育委員会表彰」授賞

当館ボランティアが、美術館開館当初より継続して、美術館活動の支援や一般来館者の利用推進に多大な寄与をされた功績に対して、福岡市教育委員会表彰が授与された。

期　　日：平成 21 年 11 月 3 日(火・祝)
表彰式会場：福岡市役所本庁舎　15 階講堂

・新規ボランティアの募集(第七期生)

「福岡市美術館ボランティア・ガイドライン」(平成 16 年度発効)の規定の通り、平成 21 年度は 5 年毎のボランティア募集の年にあたる。今後、ボランティア活動を継続発展させていくためにも新規ボランティアの加入が望ましく、資料(新聞情報、図書整理、美術家情報整理)、ギャラリーガイドのボランティア募集を行った。

募集期間：平成 21 年 12 月 1 日(火)～平成 22 年 1 月 15 日(金)
面 接 日：平成 22 年 2 月 18 日(木)、19 日(金)、20 日(土)
応募人数：95 人
採用人数：73 人

■各ボランティアの活動

平成 21 年度の登録人数：61 人

ギャラリーガイドボランティア

・ギャラリーツアー

開館日の午前 11 時と午後 2 時に 40 分、参加費無料(常設展観覧料のみ)のギャラリーツアーを行っている。ボランティアは自ら決めたテーマに沿って常設展示の作品から 3 点を選び、参加者と対話を重視しながら作品を紹介する。(＊8 月は「ギャラリーツアー for キッズ！夏休み特別版」開催のため午後 2 時からの回は休止)
参加者数： 439 人

・ギャラリーツアー for キッズ！
平成 20 年度より始まったこどもを対象としたギャラリーツアー。毎月第 2 土曜日、第 2 日曜日の午後 2 時から約 1 時間で、ボランティア自身が定めたテーマに沿い、こどもの目線に立って対話をしながら 3 点の作品を案内する。（＊8 月は「夏休み特別版」開催のため休止）
参加者数： 50 人

・団体向けツアー
上記ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は下記のとおり。なお、市内学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目（p. 21）を参照のこと。

平成 21 年

4 月 17 日（金）日本和装	一般 10 人	
5 月 9 日（土）西南学院大学	学生 10 人	引率 1 人
5 月 22 日（金）九州産業大学付属九州高校デザイン科 1 年生	学生 82 人	引率 3 人
5 月 22 日（金）九州産業大学付属九州高校デザイン科 2 年生	学生 99 人	引率 4 人
5 月 23 日（土）九州産業大学芸術学部	学生 60 人	引率 3 人
5 月 27 日（水）福岡県立玄界高校 2 年生	学生 33 人	引率 2 人
5 月 27 日（水）デイサービスセンター 5 丁目別荘	一般 15 人	
5 月 28 日（木）玄海町立有浦、仮屋、牟形小学校	児童 45 人	引率 4 人
6 月 21 日（日）ボーイスカウト福岡第 40 団	児童 13 人	引率 9 人
7 月 3 日（金）宗像市立城山中学校 3 年生	生徒 216 人	引率 8 人
7 月 15 日（水）九州産業大学芸術学部	学生 19 人	引率 2 人
8 月 8 日（土）唐津市立浜玉中学校美術部	学生 11 人	引率 1 人
8 月 27 日（木）朝倉市立杷木中学校（美術科の研修）	一般 6 人	
10 月 3 日（土）九厚会	一般 40 人	
10 月 4 日（日）九厚会	一般 51 人	
10 月 9 日（金）アートツアー	一般 28 人	
10 月 10 日（土）九厚会	一般 43 人	
10 月 11 日（日）九厚会	一般 36 人	
10 月 17 日（土）九厚会	一般 45 人	
10 月 27 日（火）宮崎県日南市細田中学校 2 年	生徒 40 人	引率 4 人
10 月 29 日（木）長崎県東彼杵町立彼杵小学校 6 年生	児童 6 人	引率 1 人
10 月 30 日（金）西南学院大学	学生 24 人	引率 1 人
11 月 25 日（水）宗像市立玄海東小学校 6 年生	児童 46 人	引率 2 人
11 月 29 日（日）天神子供書道会	児童 20 人	引率 4 人
12 月 1 日（火）嘉麻市立熊ヶ畑小学校 5・6 年	児童 8 人	引率 1 人
12 月 1 日（火）小郡市立味坂小学校 6 年生	児童 15 人	引率 2 人
12 月 4 日（金）静岡県立静岡常北高校	学生 70 人	引率 4 人

平成 22 年

1 月 13 日（水）福津市立上西郷小学校 5 年生	児童 18 人	引率 2 人
1 月 17 日（日）株式会社　大山	児童 7 人	一般 32 人
1 月 22 日（金）八女市立川崎小学校 4 年生	児童 24 人	引率 2 人
1 月 29 日（金）宮若市立若宮中学校 1 年生	生徒 83 人	引率 6 人
2 月 14 日（日）福岡ふれあい健康ウォーキングクラブ	一般 30 人	
3 月 14 日（日）柳川山門医師会	一般 31 人	

新聞情報ボランティア

平成 21 年度の登録人数：30 人

・活動日
基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜きおよびファイル作業を行う。
月曜日：毎日新聞、火曜日：読売新聞、水曜日：西日本新聞、木曜日：朝日新聞、土曜日：日本経済新聞

・活動内容
月に 2 回共同作業日（原則毎月 10 日前後と月末）を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。平成 14 年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度もおおむね月 1 回ペースで作成した（第 80 号〜第 90 号）。
開館 30 周年記念「コレクション／コネクション展」の会場に、これまでのお勧め記事を数号拡大して掲示し、新聞記事によって美術館の歩みをたどることを試みた。

平成 21 年

4 月 11 日（土）共同作業　2 月分記事ファイル（参加 6 名）
4 月 20 日（月）月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 80 号作成
4 月 28 日（火）共同作業　訃報記事整理、データベース入力（参加 13 名）
5 月 11 日（月）共同作業　3 月分記事ファイル、1984 年分一般記事 9、10 月分ファイル作成、1984 年展覧会案内整理（参加 7 名）
5 月 19 日（火）火曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 81 号作成
5 月 27 日（水）共同作業　訃報記事整理、西日本新聞 1979〜1986 年分整理（参加 8 名）
6 月 10 日（水）水曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 82 号作成 共同作業　4 月分記事ファイル（参加 11 名）
6 月 25 日（木）共同作業　訃報記事整理（参加 2 名）
7 月 8 日（水）共同作業　5 月記事ファイル、記事の選択研修会（参加 8 名）
7 月 27 日（月）共同作業　訃報記事整理（参加 6 名）
7 月 30 日（木）木曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 83 号作成
8 月 31 日（月）共同作業　データベース入力（参加 6 名）
9 月 5 日（土）土曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 84 号作成
9 月 10 日（水）共同作業　6 月分記事ファイル（参加 2 名）
9 月 28 日（月）共同作業　訃報記事整理（参加 5 名）
10 月 10 日（土）共同作業　7 月分記事ファイル（参加 3 名）
10 月 19 日（月）月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 85 号作成
10 月 27 日（火）共同作業　訃報記事ファイル（参加 2 名）
11 月 3 日（火）火曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 86 号作成
11 月 10 日（火）共同作業　9 月分記事ファイル（参加 6 名）
11 月 18 日（水）水曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 87 号作成
11 月 28 日（土）共同作業　過去の記事整理（参加 3 名）
12 月 10 日（木）共同作業　10、11 月分記事ファイル（参加 9 名）
12 月 24 日（木）水曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 88 号作成

平成 22 年

1月 19日(土) 共同作業　懇親会、過去の記事整理(参加7名)
1月 30日(土) 共同作業　訃報記事整理(参加3名)
2月　6日(土) 土曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 89 号作成
2月　8日(月) 共同作業　2008 年 12 月記事ファイル(参加6名)
3月　1日(月) 共同作業　訃報記事整理(参加4名)
3月　9日(火) 共同作業　1月記事ファイル(参加4名)
3月 29日(土) 月曜班　「おすすめ新聞美術記事」第 90 号作成
3月 30日(水) 共同作業　訃報記事整理(参加3名)

図書整理ボランティア

平成 21 年度の登録人数：18 人

・活動日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

・活動内容

○目録カード整理作業

目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

○パンフレット資料整理作業

作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌・雑誌整理作業

タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

○紀要・年報類の受入作業

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

○掲載作家名パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。

美術家情報整理ボランティア

平成 21 年度の登録人数：10 人

・活動日

火曜日～木曜日　各曜日で午前と午後に分かれて作業を行う。また、月に 1 回共同作業日を設け、展覧会案内ハガキを保存する封筒の整理と大きさの切り替えを行っている。

平成 21 年度協同作業日

4月 21日(水) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分　(会議室 A)
5月 20日(木) 午前 10 時～12 時　(会議室 A)
6月 24日(木) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分　(会議室 A)
7月 20日(火) 午前 10 時～12 時　(会議室 A)
9月 21日(火) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分　(会議室 A)

・活動内容

美術館に郵送されてくる DM を分類し、作家名、展覧会名、会期、会場、その他の情報をデータベースに入力。入力と校正の済んだハガキはカード資料室に整理して保管する。また、カード資料室でハガキを収納する封筒の大きさを順次小さいものに変更し、収納スペースの確保をはかっている。2010 年 3 月末現在で 9569 件のデータ入力が完了した。
また 2009 年 11 月のボランティア総会後にミーティングを行い、これまでの活動を振り返っての疑問や問題点、次年度の新規ボランティア募集方針について話し合った。その結果、共同作業を午前中にも設定するように振り分けることなど活動を円滑にするための決定が行われた。

出版物

■展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
未来をひらく　福澤諭吉展	A4変形	431	慶應義塾、東京国立博物館、福岡市美術館、大阪市立美術館、産経新聞社編集・慶應義塾発行
生誕130年記念　冨田溪仙	A4変形	234	福岡市美術館編集・茨城県近代美術館、福岡市美術館発行
福岡市美術館所蔵品目録　森田コレクション	A4変形	128	福岡市美術館編集・発行
第44回福岡市美術展	A4変形	48	福岡市美術展運営委員編集・発行

■常設展リーフレット

近現代美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
	新収蔵作品展	A4	4	企画展示室、小作品室	平成21年3月31日
	ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家	A4	4	企画展示室、小作品室、日本画工芸室	平成21年6月2日
	古川吉重の軌跡―米国に挑んだ抽象画家	A4	4	企画展示室	平成21年10月3日
266	長谷川潔と駒井哲郎	A4	4	小作品室	平成21年10月3日
267	クリストの版画	A4	4	小作品室	平成21年12月1日
268	シリーズ美術の技法II　水彩	A4	4	小作品室	平成22年2月2日
269	新収蔵作品展	A4	4	小作品室	平成22年3月30日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
192	新収蔵作品展	A4	4	古美術企画展示室	平成21年3月31日
193	屏風絵の世界	A4	4	古美術企画展示室	平成21年6月2日
194	書と語る	A4	4	松永記念館室	平成21年12月1日
195	新収蔵作品展	A4	4	古美術企画展示室	平成22年3月30日

■夏休みこども美術館リーフレット

名称	規格	頁数	発行日
超・夏休みこども美術館2009　こどもギャラリー 目であじわおう！ふしぎでアートな美術館	A5	17	平成21年8月8日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成20年度福岡市美術館活動の記録	A4	54	平成22年3月16日

■美術館ニュース　エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
155	平成21年4月1日	未来をひらく　福澤諭吉展　学芸員　岩永悦子／開館30周年記念特集PART1　ありがとう30年　福岡市美術館館長　生田征生／平成21年度　福岡市美術館　年間スケジュール／所蔵品紹介No.270　古美術　真山水図　祥啓　学芸員　渡邊雄二／学芸員だより　心に残る作品をさがしに　学芸員　鷲頭　桂／福岡市美術館展覧会スケジュール4月→6月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
156	平成21年7月1日	福岡市美術館開館30周年記念・福岡市制施行120周年記念　コレクション／コネクション　福岡市美術館の30年　学芸員　山口洋三／コレクション／コネクション　関連事業「美術館をひろげる・ふかめる」／超・夏休みこども美術館2009／開館30周年特別企画PART2 福岡市美術館の2000年代を振り返る　学芸員　正路佐知子／所蔵品紹介近現代美術　No.271　黒装　織田広喜　学芸員　三谷理華／学芸員だより　溪仙の作品の効能(?)　学芸員　山本香瑞子／福岡市美術館展覧会スケジュール7月→9月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
157	平成21年10月1日	福岡市美術館開館30周年記念・福岡市市制施行120周年記念　生誕130年記念　冨田溪仙展　学芸員　山本香瑞子／開館30周年記念特別企画PART3　福岡市美術館の教育普及　1999→2009　学芸員　鷲頭　桂／常設展示より　古川吉重の軌跡～米国に挑んだ抽象画家　学芸員　山口洋三／常設展示より　仙厓展　九州大学文学部所蔵　中山森彦コレクション　九州大学大学院人文科学研究院　川上貴子／所蔵品紹No.272　古美術　クリシュナ物語図更紗壁掛　学芸員　岩永悦子／学芸員だより　ヴェネツィア・ビエンナーレのオープニングに初参加　学芸員　山口洋三／福岡市美術館展覧会スケジュール10月→12月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
158	平成22年1月1日	トリノ・エジプト展　イタリアが愛した美の遺産　学芸員　正路佐知子／中国陶磁の5000年　森田コレクション　学芸員　後藤　恒／美術館をひろげ、ふかめた夏の報告　美術館を「ふかめる」　学芸員　岩永悦子　美術館を「ひろげる」　学芸員　山口洋三／所蔵品紹介No.273　近現代美術　青嵐　冨田溪仙　学芸員　山本香瑞子／学芸員だより　フランス「文書館」事情　学芸員　三谷理華／福岡市美術館展覧会スケジュール1月→3月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12

エスプラナード155～158号▶

「ラファエル・コランの画風形成初期の諸問題にまつわる基礎的調査」

三谷理華

調査期間：平成21年10月18日～11月4日

調査先：オート＝ソーヌ県立文書館（ヴズール市）、フランス国立文書館（パリ市）、フランス国立図書館（パリ市）、個人宅

本調査は、ラファエル・コラン（1850~1916）の画風形成初期の諸問題を解明するため、それにまつわる作品及び資料調査をフランスにおいて行ったものである。コランの旧友の文書資料で現在公的機関に所蔵されるものや、学生時代の公文書、画業初期のサロン批評、ならびに初期作品をそれぞれ調査した。画家のキャリアの最初期を対象としたため、資料の保管状況が全般的には思わしくなかったものの、コランの画風形成期の交友関係などを示す幾つかの貴重な文書資料が確認された。これらを基に、今後も継続してコランの外光派アカデミスムの形成過程の解明を心がけていきたい。

なお、本調査は財団法人高梨学術奨励基金の助成により行われた。

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術			
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	総計
2件	11件	13件	0件	79件	79件	92件

■近現代美術

購　入

郷土作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-556	池邊 教	ザ・クォーク	1987-2005	194.2×259.0	アクリル、シルクスクリーン・画布	42101740

日本作家　写真

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-F-443	伊奈英次	ZONE KDDI八俣送信所 茨城県猿島郡三和町	1987-2005	79.5×99.5	クリスタルプリント・紙	42101739

寄　贈

郷土作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-580	三上 浩	工場風景	1959	112.8×161.5	油彩・画布	42110296
1-A-581	多々羅義雄	[裸婦]	不詳	52.7×45.7	油彩・画布	42110292
1-A-582	多々羅義雄	[港の風景]	不詳	91.4×116.5	油彩・画布	42110293
1-A-583	小川運太郎	シャルトル逆光	1975	65.1×80.0	油彩・画布	42110290
1-A-584	片山雅史	風のなる日のために '88　Delancy - I	1988	255.0×766.0	アクリル・画布	42110291

郷土作家　日本画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-221	富田溪仙	台清風物図貼交屏風	1911頃	各166.4×370.8 (六曲一双)	絹本着色、絹本墨画淡彩	42110294

郷土作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-63	藤野忠利	赤い鎧	1968	137.0×140.0×178.0	アクリル板、塗料、鉄	42110295

日本作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-155	鷲見康夫	作品	1999	145.1×130.0	アクリル、塗料・画布	42110300

日本作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-41	北山善夫	夏はうつて変わって	1987	27.5×28.0×27.5	竹、紙、革、布、銅線	42110297
2-G-42	北山善夫	発生したか	1988	198.0×80.5×18.5	竹、紙、銅線	42110298
2-G-43	北山善夫	乏しかったことも	1985	138.0×93.5×59.0	木、竹、紙、革、銅線	42110299

▲《ZONE KDDI八俣送信所 茨城県猿島郡三和町》伊奈英次 1987-2005年

▲富田溪仙《台清風物図貼交屏風》(部分) 1911年頃

▲富田溪仙《台清風物図貼交屏風》(部分) 1911年頃

■古美術

寄　贈

古美術一般資料　陶磁器

所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-182	白磁百合形鉢	肥前	江戸時代	最大径15.0　高さ6.6　高台径4.3	磁器	42106217
14-Ha-183	土風炉	宗八	不詳	胴34.0　高さ18.2	磁器	42106220
14-Ha-184	織部菊花文敷瓦	要左衛門	江戸時代	縦43.1　横42.5　高さ3.1	磁器	42106221
14-Ha-185	織部敷瓦	織部焼	江戸時代	縦29.2　横29.2　高さ3.2	磁器	42106222
14-Ha-186	前土器(2枚)	楽慶入ほか	江戸時代	白:縦6.6 横10.4　赤:縦6.4 横10.5	磁器	42106223

古美術一般資料　金工

所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
14-Hc-8	切掛鉄風炉釜	伝・辻与次郎(風炉)	桃山～江戸時代	風炉:胴径35.7 高さ25.1	鋳鉄	42106218
	(霰切掛釜・鬼面鈬付風炉)	伝・名越浄味(釜)		釜:胴径23.9 高さ12.9		
14-Hc-9	秋草文鉄風炉		江戸時代	胴径41.5　高さ20.2	鋳鉄	42106219
14-Hc-10	五徳		不詳	径23.0　高さ13.1	鋳鉄	42106224

一般古美術資料 染織

所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-295	蜀江文印金絞肩掛	インドネシア	19-20世紀	経209.7　緯92.2(織幅)	絹	42106227
14-Hd-296	紺地菊牡丹唐草文金襴柱巻		文化12(1815)年	経197.6　緯67.2	絹、金糸	42106228
14-Hd-297	茶地桐に鳳凰丸金襴帯地		不詳	経420.2　緯68.6(織幅)	絹、金糸	42106229
14-Hd-298	浅葱地松に花鳥兎文銀襴帯地		不詳	経409.0　緯69.2(織幅)	絹、麻、銀糸	42106230
14-Hd-299	茶地洲浜に切箔文金襴帯地		不詳	経420.4　緯67.9(織幅)	絹、金糸	42106231
14-Hd-300	浅葱地窠に双鳳凰丸銀襴帯地		不詳	経425.0　緯68.6(織幅)	絹、銀糸	42106232
14-Hd-301	蜀江文様更紗頭巾	インドネシア	19-20世紀	経91.0　緯89.9(織幅)	木綿	42106233

一般古美術資料 その他

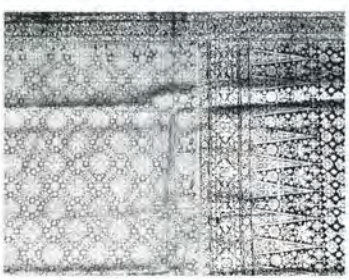
所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
14-Hf-10	松永耳庵作 茶杓 銘「小田原」共筒	松永耳庵	昭和33(1958)年	長さ18.1	竹	42106225
14-Hf-11	松永耳庵作 竹蓋置	松永耳庵	昭和時代	炉用:径6.1高さ5.4　風炉用:径5.0高さ5.4	竹	42106226

川村コレクション　彫刻等

所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
21-G-61	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦9.0　横7.9	塼仏	42106155
21-G-62	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦9.2　横7.9	塼仏	42106156
21-G-63	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦9.3　横7.6	塼仏	42106157
21-G-64	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦10.5　横9.2	塼仏	42106158
21-G-65	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦9.5　横8.2	塼仏	42106159
21-G-66	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦10.3　横7.6	塼仏	42106160
21-G-67	転法輪印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦11.5　横10.1	塼仏	42106161
21-G-68	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 7-9世紀	縦9.3　横6.9	塼仏	42106162
21-G-69	仏三尊像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦8.3　横6.6	塼仏	42106163
21-G-70	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦4.5　横3.8	塼仏	42106164
21-G-71	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦5.0　横4.1	塼仏	42106165
21-G-72	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦3.6　横3.4	塼仏	42106166
21-G-73	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦3.9　横3.1	塼仏	42106167
21-G-74	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ピュー時代 8-10世紀	縦3.6　横3.4	塼仏	42106168
21-G-75	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦9.5　横7.2	塼仏	42106169
21-G-76	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦9.7　横7.1	塼仏	42106170
21-G-77	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦9.6　横7.1	塼仏	42106171
21-G-78	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦16.8　横12.0	塼仏	42106172
21-G-79	「双神変」の仏陀像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦19.4　横13.2	塼仏	42106173
21-G-80	「双神変」の仏陀像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦19.4　横13.5	塼仏	42106174

所蔵品番号	作品名	作者名・産地	制作年・時代	寸法(cm)	品質	備品受入番号
21-G-81	仏陀立像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦8.7　横3.8	塼仏	42106175
21-G-82	千体仏(50躯の仏陀坐像)	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦16.0　横12.0	塼仏	42106176
21-G-83	触地印仏陀坐像と仏伝七相	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦16.3　横12.2	塼仏	42106177
21-G-84	触地印仏陀坐像と仏伝七相	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦7.0　横4.9	塼仏	42106178
21-G-85	転法輪印仏陀倚像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦9.5　横9.6	塼仏	42106179
21-G-86	転法輪印仏陀倚像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦7.2　横4.4	塼仏	42106180
21-G-87	転法輪印仏陀倚像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦7.4　横4.3	塼仏	42106181
21-G-88	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-12世紀	縦7.8　横5.5	塼仏	42106182
21-G-89	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦6.6　横4.5	塼仏	42106183
21-G-90	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦8.5　横7.7	塼仏	42106184
21-G-91	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦18.2　横15.1	塼仏	42106185
21-G-92	15躯の仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦25.8　横19.8	塼仏	42106186
21-G-93	触地印仏陀坐像(火焔形)	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦14.5　横9.6	塼仏	42106187
21-G-94	触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 11-13世紀	縦5.4　横4.6	塼仏	42106188
21-G-95	金銅触地印仏陀坐像	ミャンマー	パガン時代 13-14世紀	高22.0　台座幅14.4	金銅仏	42106189
21-G-96	触地印仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	縦12.5　横7.8	塼仏	42106190
21-G-97	触地印仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	縦13.0　横8.0	塼仏	42106191
21-G-98	触地印仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	縦10.8　横5.2	塼仏	42106192
21-G-99	触地印仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	縦9.7　横5.1	塼仏	42106193
21-G-100	触地印仏陀坐像と供養者像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	縦7.8　横5.8	塼仏	42106194
21-G-101	触地印仏陀坐像と供養者像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	仏陀:縦8.1　横4.3 供養者:縦6.9　横2.0	塼仏	42106195
21-G-102	比丘立像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	高さ7.3	陶仏	42106196
21-G-103	褐釉仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	高さ14.4　底径8.1	陶仏	42106197
21-G-104	褐釉仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	高さ11.5　幅4.3	陶仏	42106198
21-G-105	青銅製触地印仏陀坐像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	高さ10.5　幅3.9	金銅仏	42106199
21-G-106	青銅製供養者像	ミャンマー	シャン様式 17-19世紀	高さ8.8　幅3.4	金銅仏	42106200
21-G-107	緑釉兎頭人物像	ミャンマー	ペグー時代 15-16世紀	縦42.3　横31.0	陶板	42106201
21-G-108	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ペグー時代 14-16世紀	縦9.5　横5.8	塼仏	42106202
21-G-109	触地印仏陀坐像	ミャンマー	ペグー時代 14-16世紀	縦7.5　横5.1	塼仏	42106203
21-G-110	褐釉供養者像	ミャンマー	ペグー様式 18-19世紀	縦22.5　横22.9	陶板	42106204
21-G-111	青銅製触地印仏陀坐像	ミャンマー	ペグー時代 14-16世紀	縦6.3　横4.5	青銅製鍍金	42106205
21-G-112	青銅製触地印仏陀坐像	ミャンマー	ペグー時代 14-16世紀	縦5.5　横3.3	青銅製	42106206
21-G-113	青銅製触地印仏陀坐像	ミャンマー	ペグー時代 14-16世紀	縦5.5　横3.2	青銅製	42106207
21-G-114	触地印仏陀坐像	ミャンマー	タウングー朝時代 16-18世紀	縦9.6　横6.4	塼仏	42106208
21-G-115	触地印仏陀坐像	ラオス	15世紀	高8.8　幅4.7	塼仏	42106209
21-G-116	触地印仏陀坐像	ラオス	15世紀	縦9.0　横5.1	塼仏	42106210
21-G-117	木製禅定印仏陀坐像	ラオス	17-18世紀	縦18.3　横8.2	木彫仏	42106211
21-G-118	木製禅定印仏陀坐像	ラオス	17-18世紀	縦13.5　横4.7	木彫仏	42106212
21-G-119	仏陀坐像	インドネシア	シュリーヴィジャヤ時代 9-10世紀	径7.5	塼仏	42106213
21-G-120	木造浮彫:6躯の仏陀坐像	カンボジア(クメール)	ポストアンコール時代18世紀	高34.7　幅17.1	木彫仏	42106214
21-G-121	褐釉禅定印仏陀坐像	タイ	ラタナコーシン時代 19-20世紀	縦8.4　横6.3	塼仏	42106215
21-G-122	護符(Phra Pit Ta)	タイ	ラタナコーシン時代 20世紀	縦2.7　横2.1	塼仏	42106216

▲白磁百合形鉢　肥前　江戸時代



▲蜀江文印金絞肩掛　インドネシア　19-20世紀

▲転法輪印仏陀坐像
ミャンマー　7-9世紀

図書・映像資料

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	114	20
	図録	2	4
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	92	20
	図録	445	16
	年報・紀要	278	1
	製本資料	0	0
	雑誌	428	113
合計		1,359	174
総計			1,533

単位（冊）

映像資料関係受入状況

購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	DVD	0
	マイクロフィルム	0
寄贈	ビデオ	0
	レーザーディスク	7
	コンパクトディスク	1
	DVD	3
	マイクロフィルム	0
合計		11

単位（点）

美術資料の修復・貸出

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩等	宇治山哲平	想	1975	112.6×194.8	油彩・画布	1点	1-A-27
油彩等	川上省三	(題不詳)	不詳	76.4×51.3	油彩、ペン・紙	1点	1-A-558
油彩等	光安浩行	初夏	1937	181.0×227.0	油彩・画布	1点	1-A-573
素描	河原 温	「孕んだ女」下図	1953	33.4×32.0	鉛筆・紙	1点	2-D-1
油彩等	藤島武二	椿を持つ婦人	不詳	48×22	油彩・画布	1点	7-A-71

■古美術

種別	作品名	作者名・産地	制作年	寸法(cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	三十六歌仙画冊	岩佐又兵衛	江戸時代初期	21.0×21.6(各図)	紙本着色	1帖	14-B-26
陶磁器	三彩鎮墓獣	中国	唐時代	高さ 67.0 最大幅 21.5	陶磁器	1躯	20-Ha-90
陶磁器	青磁刻花蓮華文多嘴壺	中国・龍泉窯	北宋〜南宋時代・12世紀	高さ 22.6 胴径 14.4 口径 7.5 高台径 9.2	陶磁器	1口	20-Ha-114
陶磁器	白釉黒花牡丹文枕	中国	金時代・12-13世紀	最大径 28.8 高さ 12.0	陶磁器	1点	20-Ha-163
その他	ガラス瓶	シリア	1世紀	高さ 23.0 口径 10.5 最大径 16.4	ガラス	1口	20-Hf-13

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	レオナール・フジタ	仰臥裸婦	3-A-6	没後40年 レオナール・フジタ展	北海道立近代美術館	平成20年7月12日ー9月4日
素描	レオナール・フジタ	腕をのばした大きな裸婦	3-D-1		宇都宮美術館	平成20年9月14日ー11月9日
					上野の森美術館	平成20年11月15日ー平成21年1月18日
					福岡市美術館	平成21年2月22日ー4月19日
					せんだいメディアテーク	平成21年4月26日ー6月7日
油彩等	佐伯祐三	街	2-A-29	没後80年記念 佐伯祐三展	大阪市立美術館	平成20年9月9日ー10月19日
				ーパリで夭逝した天才画家の道ー	高松市美術館	平成20年10月24日ー12月7日
					北海道立近代美術館	平成21年4月24日ー6月14日
					新潟県立万代島美術館	平成21年7月4日ー8月30日
					(大阪、高松、北海道会場のみ貸出)	
油彩等	元永定正	作品	2-A-70	元永定正展	三重県立美術館	平成21年4月11日—5月31日
油彩等	白髪一雄	丹赤	2-A-59	白髪一雄展	安曇野市豊科近代美術館	平成21年4月25日—6月14日
				格闘から生まれた絵画	尼崎市総合文化センター	平成21年7月18日—9月6日
					横須賀美術館	平成21年10月31日—12月27日
					碧南市藤井達吉美術館	平成22年1月23日—3月14日
油彩等	青木 繁	秋声	1-A-288	美連協25周年記念	東京都美術館	平成21年4月25日—7月5日
油彩等	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子	3-A-10	日本の美術館名品展		
油彩等	桜井孝身	リンチ	1-A-353	現代美術の4つの絵画	山口県立美術館	平成21年6月19日—7月20日
版画	野田哲也	日記 1968年5月15日	1-E-297			
油彩等	岡田三郎助	花	7-A-4	生野三巨匠の系譜展	あさご芸術の森美術館	平成21年7月18日—8月30日
油彩等	白瀧幾之助	リラ咲く頃	7-A-21	〜黒田清輝から藤島武二まで〜		
油彩等	和田英作	風景	7-A-57			
油彩等	和田三造	けしの花	7-A-59			
油彩等	和田三造	海	7-A-61			
油彩等	和田三造	濠端	7-A-62			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
日本画	冨田溪仙	青嵐	1-B-64	生誕130年記念　冨田溪仙展	茨城県近代美術館	平成21年8月8日―9月23日
日本画	冨田溪仙	沖縄三題	1-B-65		福岡市美術館	平成21年10月10日―11月23日
日本画	冨田溪仙	御室の桜	1-B-67			
日本画	冨田溪仙	伝書鳩	1-B-68			
日本画	冨田溪仙	南泉斬猫・狗子仏性	1-B-86			
日本画	冨田溪仙	嵐峡晴雨図	1-B-110			
日本画	冨田溪仙	樹下黒牛図 ＊	1-B-122			
日本画	冨田溪仙	立山獅子鼻越え ＊	1-B-123			
日本画	冨田溪仙	沖縄三題	1-B-158			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　題字	1-B-161			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　太宰府の梅	1-B-174			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　観世音寺の晩鐘	1-B-175			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　芥屋大戸晴嵐	1-B-176			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　舞鶴城の蓮	1-B-177			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　香椎綾杉	1-B-178			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　箱崎夕照	1-B-179			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　名島の秋月	1-B-180			
日本画	冨田溪仙	筑紫八景　千代の松原積雪	1-B-181			
日本画	冨田溪仙	追山之図	1-B-187			
日本画	冨田溪仙	筥崎放生会	1-B-201			
日本画	冨田溪仙	鶴	1-B-202			
日本画	冨田溪仙	童子	1-B-215			
日本画	冨田溪仙	神庫（試作）	1-B-220			
日本画	冨田溪仙	伊弉諾尊・伊弉冉尊	11-B-13			
日本画	冨田溪仙	閑庭図	11-B-14			
日本画	冨田溪仙	菊慈童図	11-B-15			
日本画	冨田溪仙	周山常照桜図	11-B-16			
		（＊は茨城会場のみ貸出）				
油彩等	吉田 博	チューリンガムの黄昏	1-A-513	THE YOSHIDA FAMILY	三鷹市美術ギャラリー	平成21年8月29日―10月12日
水彩等	吉田 博	土手の桜	1-C-187	世界をめぐる吉田家4代の画家		
水彩等	吉田ふじを	ベニス	1-C-228	たち		
油彩等	和田三造	伊豆大島乳が崎沖より伊豆天城山及び富士を望む	7-A-58	和田三造展	姫路市立美術館	平成21年9月12日―10月25日
油彩等	和田三造	奥入瀬溪谷	7-A-60			
油彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-A-63			
油彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-A-64			
油彩等	和田三造	「西都政庁の図」習作	7-A-65			
日本画	和田三造	平氏物語絵巻	7-B-55			
日本画	和田三造	石	7-B-56			
日本画	和田三造	陶靖帰去来辞	7-B-60			
水彩等	和田三造	「西都政庁の図 」習作	7-C-14			
水彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-C-15			
水彩等	和田三造	「西都政庁の図」習作	7-C-20			
水彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-C-24			
水彩等	和田三造	博多繁盛の図下絵	7-C-27			
素描	和田三造	滞獅子王国帖	7-D-8			
版画	和田三造	続昭和職業絵盡　競輪	7-E-8			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
版画	和田三造	続昭和職業絵盡 日雇労働者（ニコヨン）	7-E-8	和田三造展	姫路市立美術館	平成21年9月12日―10月25日
版画	和田三造	続昭和職業絵盡 汽車に働く人	7-E-8			
版画	和田三造	麦酒妃	7-E-10			
版画	吉田 博	桜八題 嵐山	1-E-216	よみがえる浮世絵 ―うるわしき大正新版画展	東京都江戸東京博物館	平成21年9月19日―11月8日
版画	吉田 博	桜八題 弘前城	1-E-222			
版画	吉田 博	藤之庭	1-E-229			
版画	吉田 博	竹林	1-E-257			
版画	小早川 清	踊り	1-E-345			
版画	小早川 清	芸者市丸	1-E-347			
版画	小早川 清	ダンサー	1-E-348			
版画	小早川 清	唐人お吉	1-E-349			
版画	吉田 博	明治神宮の神苑	1-E-619			
版画	吉田 博	大同門	1-E-246	近代の東アジアイメージ―日 本近代美術はどうアジアを描 いてきたか	豊田市美術館	平成21年10月10日―12月27日
版画	吉田 博	奉天市場	1-E-247			
版画	吉田 博	奉天大南門	1-E-248			
版画	吉田 博	星子	1-E-264			
日本画	堅山南風	雅日	1-B-77	九州ゆかりの日本画家たち	熊本市現代美術館	平成21年10月10日―12月6日
日本画	堅山南風	新涼の客	1-B-182			
水彩等	青木 繁	黄泉比良坂　習作	7-C-1	神話～日本美術の想像力～	奈良県立美術館	平成21年10月24日―12月24日
素描	青木 繁	黄泉比良坂　習作	7-D-1			
油彩等	松井源右衛門	炭坑の人々	1-A-264	'文化'資源としての＜炭鉱＞展	目黒区美術館	平成21年11月4日―12月27日
油彩等	谷口利夫	人工島（三池シリーズ）	1-A-354			
油彩等	尾花成春	自画像	1-A-403			
素描	池田龍雄	地熱―三池の構図―	1-D-349			
油彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-A-63	郷土の美術をみる・しる・まなぶvol.1 博多工芸ぶらぶら散歩	福岡県立美術館	平成21年12月12日―平成22年1月31日
油彩等	和田三造	「博多繁昌の図」習作	7-A-67			
素描	村山槐多	自画像	2-D-5	没後90年　村山槐多 ガランスの悦楽	渋谷区立松濤美術館	平成21年12月1日―平成22年1月24日
油彩等	ルイ＝ジョゼフ＝ ラファエル・コラン	若い娘	3-A-2	近代との遭遇 ―世界を見る・日本を創る―	佐賀県立美術館	平成22年1月1日―2月14日
油彩等	児島善三郎	福岡市展望	1-A-39	２つの美術山脈 修猷館と明善に集った美術家たち	福岡県立美術館	平成22年2月5日―3月14日
油彩等	中村琢二	六月の庭	1-A-206			
油彩等	伊藤研之	音階	1-A-209			
油彩等	倉員辰雄	磯	1-A-216			
版画	藤森静雄	夜（「月映」I 所収）	1-E-357			
版画	藤森静雄	人類（「月映」I 所収）	1-E-360			
版画	藤森静雄	枝をはなれし一つの果 （「月映」IV 所収）	1-E-367			
版画	藤森静雄	悲しきねがひ（「月映」 IV 所収）	1-E-372			
彫刻等	瓦林睦生	Untitled 80 - 2	1-G-12			
油彩等	和田三造	伊豆大島乳が崎沖より伊 豆天城山及び富士を望む	7-A-58			
日本画	和田三造	小鳥を見る童子	7-B-61			

■古美術

種別	作品名	作者名・産地	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	葡萄図屏風	崔奭煥	14-B-14	朝鮮王朝の絵画と日本	栃木県立美術館	平成20年11月2日―12月14日
絵画	花鳥図	伝・申師任堂	14-B-15	宗達、大雅、若冲も学んだ隣国の美	静岡県立美術館	平成21年2月17日―3月29日
					仙台市博物館	平成21年4月17日―5月24日
					岡山県立美術館	平成21年6月5日―7月12日
絵画	芦葉達磨図（大・福）	伝・因陀羅	6-B-7	未来をひらく　福澤諭吉展	東京国立博物館	平成21年1月10日―3月8日
絵画　重美	韋駄天・猿猴図	伝・牧谿	6-B-9		福岡市美術館	平成21年5月2日―6月14日
絵画　重文	地獄草紙断簡・勘当の鬼	不詳	6-B-12		大阪市立美術館	平成21年8月4日―9月6日
絵画　重文	布袋図（東）	足利義持	6-B-20			
絵画　重文	花籠図（東）	尾形乾山	6-B-36			
彫刻　重文	弥勒菩薩半跏像（東）	不詳	6-G-1			
彫刻	如来形立像（大・福）		6-G-19			
陶磁器 重文	色絵吉野山図茶壺（東）	野々村仁清	6-Ha-50			
陶磁器	唐物肩衝茶入 銘「松永」（東）		6-Ha-51			
陶磁器	高麗割高台茶碗 銘「下葉」		6-Ha-59			
陶磁器	黒楽茶碗 銘「次郎坊」（東）	長次郎	6-Ha-62			
陶磁器	志野筒茶碗 銘「露香」（大・福）		6-Ha-65			
陶磁器	雨漏堅手茶碗 銘「天野屋」		6-Ha-70			
陶磁器	黒楽茶碗 銘「小太郎ケ淵」（大・福）		6-Ha-72			
陶磁器	影青刻花文鉢		6-Ha-137			
陶磁器 重文	五彩魚藻文壺（大・福）		6-Ha-139			
漆工　重文	黒漆平文唐櫛笥　台共（東・大）		6-Hb-1			
金工	王字形水瓶		6-Hc-6			
金工	火舎香炉		6-Hc-8			
金工　重美	扇面散文鏡		6-Hc-15			
金工	芦屋浜松舟地文釜		6-Hc-102			
其他	茶杓 銘「岩戸」　共筒（大・福）	益田非黙	6-Hf-82			
書跡　重文	金剛般若経開題残巻（東）	空海	6-i-1			
書跡　重文	月江正印墨蹟（七言絶句）（大・福）	月江正印	6-I-5			
書跡	一休宗純墨蹟（七言絶句）	一休宗純	6-I-10			
書跡　重美	夢記切（大・福）	明恵	6-I-15			
書跡	千利休消息　あぜち宛 （東）＝東京会場のみ出品 （大・福）＝大阪、福岡会場のみ出品 （東・大）＝東京、大阪会場のみ出品	千利休	6-I-18			
絵画	霞ヶ関登城図	司馬雲妓	4-B-28	―知られざるサムライ・アート―大名庭園展	広島県立美術館	平成21年4月21日―5月31日
絵画　重美	文殊菩薩騎獅像（前期のみ展示）		6-B-16	PASSION―	石橋美術館	平成21年4月21日―7月5日
絵画　重美	焔摩天像（後期のみ展示）		6-B-40	石橋正二郎生誕120年を記念して		（前期：4月21日―5月24日、
陶磁器	織部角切透鉢		6-Ha-48			後期：5月26日―7月5日）
陶磁器	粉吹茶碗 銘「十石」		6-Ha-56			
金工	牛形匜		6-Hc-115			
陶磁器	志野四方向付		6-Ha-108	向付―茶の湯を彩る食の器	五島美術館	平成21年6月27日―7月26日
陶磁器	上野割山椒形向付	上野焼（釜ノ口窯）	6-Ha-110			
陶磁器	斑釉面取筒向付	高取焼（内ケ磯窯）	14-Ha-142			
陶磁器	藁灰釉木の葉形向付	高取焼（白旗山窯）	14-Ha-152			
陶磁器	色絵葡萄文割山椒形向付	現川焼	14-Ha-41			
漆工	二月堂練行衆盤	蓮仏	6-Hb-23	海の道、アジアの路	九州国立博物館	平成21年6月24日―8月2日
金工	舎利塔		6-Hc-28			
陶磁器	色絵草文盤	ベトナム	14-Ha-23	海上絲路・看見東南亞	台北県立鶯歌陶瓷博物館	平成21年10月17日―平成22年2月28日
陶磁器	鉄絵蓮池水禽文壺	ベトナム	14-Ha-27			
陶磁器	黒釉四耳壺	シーサッチャナーライ	14-Ha-101			
陶磁器	灰釉盤口小壺	クメール	17-Ha-16			

種別	作品名	作者名・産地	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
陶磁器	灰釉擬宝珠合子	クメール	17-Ha-20	海上絲路・看見東南亞	台北県立鶯歌陶瓷博物館	平成21年10月17日―平成22年2月28日
陶磁器	黒釉象形壺	クメール	17-Ha-32			
陶磁器	灰釉刻花文兎形小壺	クメール	17-Ha-55			
陶磁器	鉄絵花文鉢	スコータイ	17-Ha-77			
陶磁器	鉄絵宝輪文鉢	スコータイ	17-Ha-78			
陶磁器	鉄絵印判手花文鉢	スコータイ	17-Ha-83			
陶磁器	鉄絵魚文壺	スコータイ	17-Ha-87			
陶磁器	鉄絵ノラシンガ像	スコータイ	17-Ha-91			
陶磁器	鉄絵天人像(瓦)	スコータイ	17-Ha-93			
陶磁器	青磁刻花蓮華文稜花盤	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-104			
陶磁器	青磁刻花蓮華文盤	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-107			
陶磁器	青磁刻花蓮華文壺　蓋共	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-126			
陶磁器	青磁迦陵頻伽形水注	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-137			
陶磁器	青磁刻花文鳥形水注	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-138			
陶磁器	青磁鉄絵魚鳥文盤	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-140			
陶磁器	鉄絵双魚文盤	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-144			
陶磁器	練上手水注(ケンディ)	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-160			
陶磁器	白褐釉刻花龍鳳凰文水注	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-170			
陶磁器	白褐釉刻花龍鳳凰牡丹唐草文水注	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-171			
陶磁器	白褐釉象置物	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-175			
陶磁器	白褐釉刻花天人文合子	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-190			
陶磁器	鉄絵面取唐草文大合子	ｼｰｻｯﾁｬﾅｰﾗｲ	17-Ha-196			
陶磁器	印花象文大壺	スパンブリ	17-Ha-234			
陶磁器	鉄絵花唐草文盤	サンカンペン	17-Ha-237			
陶磁器	鉄絵飛鳥文盤	カロン	17-Ha-247			
陶磁器	鉄絵魚藻文盤	カロン	17-Ha-250			
陶磁器	褐釉印花双魚文盤	カロン	17-Ha-274			
陶磁器	青磁刻花蓮華文盤	パーン	17-Ha-280			
陶磁器	印花白象嵌瓔珞文長頸瓶	ハリプンチャイ	17-Ha-286			
陶磁器	白釉緑彩花鳥文盤	ビルマ	17-Ha-289			
陶磁器	白釉緑彩花文盤	ビルマ	17-Ha-291			
陶磁器	白釉刻花文陵花盤	ビルマ	17-Ha-299			
陶磁器	緑彩牛頭人物像塼	ビルマ	17-Ha-305			
陶磁器	緑彩舞踊人物文塼	ビルマ	17-Ha-306			
陶磁器	灰釉獣環耳壺	ベトナム	17-Ha-309			
陶磁器	青磁刻花雲気文鉢	ベトナム	17-Ha-318			
陶磁器	青磁刻花吉祥文碗	ベトナム	17-Ha-327			
陶磁器	褐釉貼花文水注　共蓋	ベトナム	17-Ha-348			
陶磁器	青花牡丹唐草文壺	ベトナム	17-Ha-356			
陶磁器	青花珠取龍文大壺	ベトナム	17-Ha-362			
陶磁器	青花舟遊文広口壺	ベトナム	17-Ha-363			
陶磁器	青花青海波草花文瓶	ベトナム	17-Ha-364			
陶磁器	青花鳳凰文瓶	ベトナム	17-Ha-367			
陶磁器	青花菊文背面刻花雲龍文皿	ベトナム	17-Ha-369			
陶磁器	青花鯰文盤	ベトナム	17-Ha-372			
陶磁器	色絵麒麟文盤	ベトナム	17-Ha-409			
陶磁器	色絵菊唐草文四耳合子	ベトナム	17-Ha-414			
陶磁器	緑釉刻花鹿文双耳瓶	ベトナム	17-Ha-432			
金工	芦屋菊桜地文釜		6-Hc-104	郷土の美術をみる・しる・まなぶ vol.1	福岡県立美術館	平成21年12月12日―平成22年1月31日
絵画	子孫繁昌図	仙厓義梵	9-B-24	博多工芸ぶらぶら散歩		
絵画	指月布袋図	仙厓義梵	9-B-39			
絵画	天狗図	仙厓義梵	9-B-40			

展示室

※観覧料の記載のないものは無料。

平成21年

▶キャノンフォトクラブ福岡
4月7日(火)～4月12日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,885人
写真作品101点を展示。

▶九州四季折々　玄一生写真展
4月7日(火)～4月12日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,157人
風景写真43点を展示。

▶悦蘭会墨彩画展
4月7日(火)～4月12日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,278人
水墨画、墨彩画、はがき絵約90点を展示。

▶第3回なんばショット倶楽部写真展
4月7日(火)～4月12日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝979人
風景、花などを題材にした写真作品67点を展示。

▶第17回フォトしゅん写真展
4月7日(火)～4月12日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,031人
風景、人物スナップなどの写真作品54点を展示。

▶刺し子展　下川冨士子の世界
4月14日(火)～4月19日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝4,344人
タペストリー、着物、どんざ、帯など61点を展示。

▶一語一絵　宮本幹太展
4月14日(火)～4月19日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝470人
日本画、水彩画に博多弁の詩を組み入れた「方言書画」を約40点展示。

▶雅友会水彩画展
4月14日(火)～4月19日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,049人
NHK文化センター水彩画教室の作品59点を展示。

▶中村洋一　葦ペンスケッチ　福岡の風景展
4月14日(火)～4月19日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,285人
葦ペン画(水彩)による福岡の風景画104点を展示。

▶小川郁子油彩画展「花に誘われて」
4月14日(火)～4月19日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,256人
油彩画39点を展示。

▶蘆洲会書展
4月21日(火)～4月26日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝512人
額装、軸等の書作品150点を展示。

▶ふくおか植物画会第3回ボタニカルアート展
4月21日(火)～4月26日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝794人
水彩、アクリルによる植物細密画40点を展示。

▶ももちパレス　エルサバド展
4月21日(火)～4月26日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝719人
土曜洋画教室の油彩画45点を展示。

▶太宰府日記 Monologue 柳祥子写真展
4月21日(火)～4月26日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝746人
写真作品(全紙8点、半切46点)を展示。

▶第33回九州藍筍会展
4月21日(火)～4月26日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝633人
2×6cm、2×8cm、半切、巻子、色紙等の書作品76点を展示。

▶第19回わだち展
4月28日(火)～5月6日(水)
特別展示室B
日数＝9日／観覧者数＝1,470人
油彩画、水彩画等44点を展示。

▶フォト　悠々会
4月28日(火)～5月6日(水)
市民ギャラリーA
日数＝9日／観覧者数＝1,026人
風景を中心とした写真作品42点を展示。

▶鈍行会
4月28日(火)～5月6日(水)
市民ギャラリーB
日数＝9日／観覧者数＝1,036人
洋画、日本画、染色、版画、水彩画、和紙ちぎり絵、ドローイング等31点を展示。

▶藤村信彦写真展～YEMEN～
4月28日(火)～5月6日(水)
市民ギャラリーC
日数＝9日／観覧者数＝1,132人
半切写真作品40点を展示。

▶ぶらり葦ペンの会
4月28日(火)～5月6日(水)
市民ギャラリーD
日数＝9日／観覧者数＝1,427人
葦ペン画95点を展示。

▶鴻巣書作展
5月8日(金)～5月17日(日)
特別展示室B
日数＝9日／観覧者数＝1,296人
額装、軸装の書作品102点を展示。

▶パンの耳をかじろう展
5月8日(金)～5月17日(日)
市民ギャラリーA
日数＝9日／観覧者数＝611人
イラスト、出力、写真、立体、着物の作品41点を展示。

▶春季新生起美術発表展
5月8日(金)～5月17日(日)
市民ギャラリーB
日数＝9日／観覧者数＝814人
油彩画、水彩画、水墨画76点を展示。

▶第11 回フォト百道浜写真展
5月8日(金)～5月17日(日)
市民ギャラリーC
日数＝9日／観覧者数＝837人
風景、花、スナップ等の写真作品50点を展示。

▶Wings of Kilimanjaro 2009
5月8日(金)～5月17日(日)
市民ギャラリーD
日数＝9日／観覧者数＝762人
絵画、版画、写真49点を展示。

▶三国三地国際交流写真展
5月19日(火)～5月24日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,072人
中国・広州市と韓国・釜山市と福岡市の三市交流写真展。写真作品155点を展示。

▶写団伊都写真展 マイポートレート
5月19日(火)～5月24日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝922人
「女性写真」研究会の写真作品50点

▶第27回墨心会水墨画展
5月19日(火)～5月24日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝809人
水墨画50点、はがき絵68点を展示。

▶13周年記念なかよし会写真展
5月19日(火)～5月24日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝964人
写真作品35点を展示。

▶銀・ギラ・Ag写真展2009
5月19日(火)～5月24日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝957人
ゼラチンシルバープリント約100点を展示。

▶2009玄展
5月26日(火)～5月31日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,397人
彫刻28点、洋画12点、日本画3点を展示。

▶現代水墨　雅象会展
5月26日(火)～5月31日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝762人
水墨画33点を展示。

▶第27回グループわらべ会展
5月26日(火)～5月31日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝812人
水彩画パステル画による静物、人物、風景画61点を展示。

▶自然と彫刻が好きな人たち
5月26日(火)～5月31日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝771人
木の彫刻、レリーフから立体までを展示。

▶MAVIE(まび)展
5月26日(火)～5月31日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,062人
油彩画75点を展示。

▶陶彩展
6月2日(火)～6月7日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,249人
茶碗、花器などの陶器作品、写真作品約125点を展示。

▶第10回木曜会作品展
6月2日(火)～6月7日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝977人
風景、動物、花などの写真作品33点を展示。

▶九州産業大学芸術学部写真映像学科
百瀬ゼミナール写真展「ing」
6月2日(火)～6月7日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝853人
写真約200点および映像作品を展示。

▶版画工房WA作品展
6月2日(火)～6月7日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝820人
一版刷油彩版画作品81点を展示。

▶樋口明彦研究室10周年記念展
～九州の景観とともに～
6月9日(火)～6月14日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,672人
景観デザイン模型13点、パネル76枚を展示。

▶ツレ展
6月9日(火)～6月14日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝757人
水彩、油彩、テンペラ、パステル、アクリルの作品、陶器等51点を展示。

▶どんぐりの会水彩画展
6月9日(火)～6月14日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝727人
朝日カルチャー土曜教室の水彩画作品50点を展示。

▶現代押し花アート展
6月9日(火)～6月14日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝831人
レミ子押し花学院福岡教室の押し花額装作品119点、ランプ10個を展示。

▶第3回リペルテ113絵画展
6月9日(火)～6月14日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝968人
水彩画、油彩画作品68点を展示。

▶思考する眼
6月16日(火)～6月21日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝450人
九州産業大学芸術学部写真学科大島洋研究室の学生による作品展。

▶荒木スミ子皮革工芸展
6月16日(火)～6月21日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝807人
平面作品22点、立体作品10点を展示。

▶シニアサークル彩洪会水彩画展
6月16日(火)～6月21日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝886人
水彩画60点を展示。

▲第26回天真会書展
6月16日(火)～6月21日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝936人
漢字、調和体の額装、軸装の書作品56点を展示。

▶第42回てんぐるうぶ展
6月16日(火)～6月21日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝997人
油彩画、水彩画49点を展示。

▶第40回日展
6月27日(土)～7月20日(月・祝)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円、高・大生700円、小・中生無料。
日数＝21日／観覧者数＝24,611人
日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門。全国巡回および九州・山口・沖縄の地元入選作品から約450点を展示。

▶第105回記念太平洋展・第44回西日本展
7月22日(水)～7月26日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数＝5日／観覧者数＝3,093人
巡回展は絵画、版画、彫刻、染織作品227点、公募展は絵画、版画、彫刻、染織作品75点を展示。

▶第36回 龍飛書展
7月22日(水)～7月26日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝385人
漢字、調和体の書作品約50点を展示。

▶微妙な違和感三人展
7月22日(水)～7月26日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝589人
水彩画、油彩画、アクリル画あわせて54点を展示。

▶(財)独立書人団 第32回 福岡県支部書展
7月22日(水)～7月26日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝442人
臨書作品、篆刻など23点を展示。

▶エコール・ド・レン展
7月22日(水)～7月26日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝931人
油彩画、水彩画、陶芸作品あわせて67点を展示。

▶第6回西部朝日書道展 九州・山口・沖縄代表書作家展
7月28日(火)～8月2日(日)
特別展示室A
日数＝6日／観覧者数＝1,217人
代表的な書家40人の新作76点を展示。

▶第23回工芸美術　知新会展
7月28日(火)～8月2日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,117人
陶磁器、染織、人形、皮革等の作品64点を展示。

▶SEIEN写真倶楽部作品展
7月28日(火)～8月2日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,167人
写真作品51点を展示。

▶2009日韓現代ART交流会展
7月28日(火)～8月2日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝905人
日本側20名、韓国側20名による油彩画、彫刻、陶芸、写真作品90点を展示。

▶よろず写真塾写真展
7月28日(火)～8月2日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,406人
写真作品85点を展示。

▶ホアヂァ会展
7月28日(火)～8月2日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝2,449人
油彩画22点を展示。

▶2009佐賀県立有田窯業大学校夏季作品展
「やちもの展」
8月4日(火)～8月9日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝546人
陶磁器58種 226点を展示。

▶日中子ども書画展
8月4日(火)～8月9日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝832人
福岡市、県、九州および上海、青海省の児童生徒の絵画、書などの作品310点を展示。

▶第２回山田秀一個展
8月4日(火)～8月9日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝456人
鉛筆絵53点を展示。

▶堀江康敬守護仏展
8月11日(火)～8月16日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,160人
伝統的な仏画をコンピューターグラフィックスで創作。額装、タペストリーなどの作品30点を展示。

▶"りんごの赤"展
8月11日(火)～8月16日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝910人
九州大学美術部およびOBによる油彩画、水彩画、CG作品、ペン画等44点を展示。

▶凛として
8月11日(火)～8月16日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,356人
水彩画40点を展示。

▶「震電プロジェクト」ドキュメント展
8月11日(火)～8月16日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝3,182人
立体1点、映像資料2点を展示。

▶Africa～サバンナの野生動物たち～
8月18日(火)～8月23日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝852人
写真作品47点を展示。

▶第4回福岡県高等学校書道教員書作展
8月18日(火)～8月23日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝499人
漢字、かな、篆刻等の書作品47点を展示。

▶久留米光画会写真展2009
8月18日(火)～8月23日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,399人
全紙の写真作品81点を展示。

▶第15回さくら会水彩画展
8月25日(火)～8月30日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝896人
水彩画57点を展示。

▶九文連展
8月25日(火)～8月30日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝595人
鹿児島大学、鹿児島国際大学九州工業大学の合同展。油彩画、水彩画等50点を展示。

▶第37回福岡県人書作展
8月25日(火)～8月30日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝489人
額装、軸装の書作品20点を展示。

▶日本水彩久留米支部小品展
8月25日(火)～8月30日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝924人
水彩画53点を展示。

▶第41回青像グループ写真展
9月1日(火)～9月6日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝668人
ポートレート写真45点を展示。

▶皆(カイ)展
9月1日(火)～9月6日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝961人
公民館、子ども絵画サークル等の合同作品展。油彩画、水彩画等約200点を展示。

▶第2回博親会展
9月1日(火)～9月6日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝838人
油彩画、水彩画あわせて77点を展示。

▶第21回サムホール公募展
9月8日(火)～9月13日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,746人
サムホールサイズの油彩画、水彩画、パステル画等約800点を展示。

▶古賀幸雄～心象Ⅲ～写真展
9月8日(火)～9月13日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝827人
写真作品57点を展示。

▶「風2009」合同写真展
9月8日(火)～9月13日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝900人
東花畑、草ヶ江、若久三公民館の合同写真展。写真作品52点を展示。

▶第6回みづたまの会展
9月8日(火)～9月13日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,013人
水彩画約80点を展示。

▶フォトユニットガイア写真展「水と大地の詩」
9月15日(火)～9月23日(水・祝)
市民ギャラリーA
日数＝9日／観覧者数＝1,548人
風景写真32点を展示。

▶助弘桂雪書作品展
9月15日(火)～9月23日(水・祝)
市民ギャラリーB・C
日数＝9日／観覧者数＝1,193人
扁額、書画、条幅、短冊、色紙、屏風の作品165点を展示。

▶彩舟会展
9月15日(火)～9月23日(水・祝)
市民ギャラリーD
日数＝9日／観覧者数＝1,553人
油彩画約90点を展示。

▶第37回游展
9月25日(金)～10月4日(日)
市民ギャラリーA
日数＝9日／観覧者数＝1,223人
油彩画、水彩画を約60点展示。

▶第10回グループ四季水彩画展
9月25日(金)～10月4日(日)
市民ギャラリーB
日数＝9日／観覧者数＝1,253人
日本の四季の風景を描いた水彩画59点を展示。

▶ゆう美会
9月25日(金)～10月4日(日)
市民ギャラリーC
日数＝9日／観覧者数＝1,351人
書、絵画、陶器、絵手紙等99点を展示。

▶第22回三礼会かな書作展
9月25日(金)～10月4日(日)
市民ギャラリーD
日数＝9日／観覧者数＝1,391人
額装、屏風、折帖、巻子の作品45点を展示。

▶DOT 2009「9の個性」
10月6日(火)～10月12日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝555人
彫刻13点を展示。

▶第1回ももちあさひカルチャー墨彩画教室展
10月6日(火)～10月12日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝806人
墨彩画、水墨画、はがき画、色紙画58点を展示。

▶第11回大人たちのクレパス画展
10月6日(火)～10月12日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝701人
オイルパステル画100点を展示。

▶空の会グループ展
10月6日(火)～10月12日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝975人
油彩画43点を展示。

▶第32回西日本版画協会展
10月6日(火)～10月12日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,158人
木版画、ペーパースクリーン、シルクスクリーン等53点を展示。

▶江口祥泉水墨画米寿記念展
10月14日(水)～10月18日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝1,569人
掛軸、額装、扁、屏風の書作品あわせて108点を展示。

▶第39回福岡市高齢者美術展
10月14日(水)～10月18日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝5日／観覧者数＝1,641人
絵画、書、写真、工芸の公募作品175点を展示。

▶第2回もものの樹水彩画作品展
10月14日(水)～10月18日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝1,254人
水彩画45点、油彩画1点を展示。

▶平成21年景柳会書作展
10月20日(火)～10月25日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,174人
書作品等120点を展示。

▶立花会油絵展
10月20日(火)～10月25日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝742人
油彩画43点を展示。

▶第25回城南区市民アート展
10月20日(火)～10月25日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝943人
絵画、グラフィックデザイン、書、写真、工芸146点を展示。

▶第37回鶴陽美術展
10月20日(火)～10月25日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝819人
洋画、日本画、書、工芸、彫刻、写真あわせて60点を展示。

▶第14回福岡市美術連盟展
10月27日(火)～11月1日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝2,989人
会員および推薦作家による日本画、工芸、グラフィック、写真、彫刻等157点を展示。

▶井上孝治写真展
11月3日(火)～11月8日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,125人
写真作品110点を展示。

▶第15回学校飼育動物スケッチコンクール
11月3日(火)～11月8日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝738人
市内小学校、幼稚園の公募受賞作品42点を展示。

▶芳田香風追悼展
11月3日(火)～11月8日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝576人
毛筆書道、ペン習字作品65点を展示。

▶薫風会仏像彫刻作品展
11月3日(火)～11月8日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,109人
仏像彫刻145点を展示。

▶高山オリ子の世界～小窓展～
11月3日(火)～11月8日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝863人
油彩画50点を展示。

▶第41回九州かな書道協会展
11月10日(火)～11月15日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝868人
書作品約360点を展示。

▶第29回九州二科会写真部公募展
11月17日(火)～11月23日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝2,676人
公募入選作品の展覧会。写真作品330点を展示。

▲福岡水彩画同好会展
11月17日(火)～11月23日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝1,070人
西水会、福水会、玉水会、早水会の合同展。水彩画48点を展示。

▶第30回中央区市民文化祭「美術作品展」
11月17日(火)～11月23日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
日数＝7日／観覧者数＝1,786人
絵画、写真、手工芸、書作品等749点を展示。

▶第6回姚明中国水墨画書道研究会展
11月17日(火)～11月23日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,255人
中国水墨画、漢字書道の作品64点を展示。

▶カルチャースタジオ　セ・マ・フェット展覧会～Harmonie～
11月25日(水)～11月29日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝756人
絵付けされた磁器作品など500点を展示。

▶キルトサークル You♡遊　パッチワーク作品展
11月25日(水)～11月29日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝665人
タペストリー、バッグ、ポーチ等170点を展示。

▶第12回謙慎書道会九州沖縄展
11月25日(水)～11月29日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝5日／観覧者数＝777人
篆書、隷書、楷書、行書、草書などの作品168点を展示。

▶第32回福岡市退職小学校校長会作品展
11月25日(水)～11月29日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝783人
絵画、書、工芸、写真作品あわせて68点を展示。

▶第61回毎日書道展九州展
12月1日(火)～12月6日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円、大学生以下無料。
日数＝6日／観覧者数＝3,352人
書作品1,038点を展示。

▶福岡コアサイド・アート美術展2009「福岡市障がい者(児)美術展」
12月1日(火)～12月6日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝1,504人
絵画、書道、陶芸、写真等の作品345点を展示。

▶第9回ロータリージュニア美術展
12月1日(火)～12月6日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝689人
福岡地区中学生の美術作品展。水彩画150点を展示。

▶第64回行動美術協会展
12月8日(火)～12月13日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数＝6日／観覧者数＝1,479人
絵画、彫刻作品を展示。

▶第29回南区美術展
12月8日(火)～12月13日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝1,120人
市民公募の作品および南区美術協会員の作品展。絵画、彫刻、書、工芸、写真163点を展示。

▶伊藤克広展
12月8日(火)～12月13日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝710人
油彩画、アクリル画17点を展示。

▶第35回西日本書美術展
12月15日(火)～12月20日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝4,093人
西日本書美術協会会員の書作品約1,000点を展示。

▶平成21年度福岡大学書道部展
12月15日(火)～12月20日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝801人
書作品40点を展示。

▶西日本新聞書道之友展2009
12月22日(火)～12月25日(金)
特別展示室A
日数＝4日／観覧者数＝1,380人
学生部、一般部、会友による書作品約1,000点を展示。

▶第19回ぐるーぷ・街風景画展
12月22日(火)～12月27日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,063人
水彩画、水墨画112点を展示。

▶第37回古光書道会作品展
12月22日(火)～12月27日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝706人
書作品32点を展示。

▶彩友会
12月22日(火)～12月27日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝913人
油彩画123点を展示。

▶第2回アトリエ「Octart会」作品展
12月22日(火)～12月27日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝802人
油彩画、水彩画、デッサン、パステル画72点を展示。

平成22年

▶井上寛七個展
1月5日(火)～1月11日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝2,435人
水彩画69点、油彩画3点を展示。

▶第58回福岡県小学校児童画展
1月5日(火)～1月11日(月・祝)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝7日／観覧者数＝4,483人
県下の応募点数約27万点より特選の作品800点を展示。

▶吉原みずゑ展「情景の到着」
1月13日(水)～1月17日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝1,109人
布によるインスタレーション3点を展示。

▶油彩　中島晃
1月13日(水)～1月17日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝555人
油絵30点を展示。

▶丸尾研究室写真作品展2009
1月13日(水)～1月17日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝479人
九州産業大学芸術学部写真学科丸尾研究室より写真作品80点を展示。

▶安西博之「たましいインこころの宇宙」展
1月13日(水)～1月17日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝154人
インスタレーション作品を展示。

▶第10回福岡養護学校アート展
1月13日(水)～1月17日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝632人
絵画、工芸、工作、デザイン、染色、陶芸、織物、貼り絵、書、被服、手芸等約300点を展示。

▶九輝展
1月19日(火)～1月24日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,447人
油絵、日本画、染色、写真、押花、パステル画、能面あわせて44点を展示。

▶佐藤友美水彩画展
1月19日(火)～1月24日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,003人
水彩画68点を展示。

▶第58回福岡市中学校書作品展
1月19日(火)～1月24日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,234人
半紙、短冊等の書作品860点を展示。

▶SHAKE展
1月19日(火)～1月24日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝783人
油彩画、写真、陶芸等の作品約100点を展示。

▶第9回福岡市東区美術協会会員展
1月26日(火)～1月31日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,468人
日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真あわせて49点を展示。

▶手織り遊び展
1月26日(火)～1月31日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝851人
タペストリー、ランプ等76点を展示。

▶第9回九大美術会展
1月26日(火)～1月31日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝943人
F100号の油彩画から小品まで約60点を展示。

▶第17回蒼龍会
1月26日(火)～1月31日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,177人
半切以下の漢字、かな、ペン作品160点を展示。

▶第9回こぶし会展
1月26日(火)～1月31日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,217人
日本画19点、色紙15点を展示。

▶吉田勇輔油彩画展
2月2日(火)～2月7日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,753人
油彩画92点を展示。

▶第4回写好会作品展
2月2日(火)～2月7日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝885人
風景写真37点を展示。

▶第53回西日本読書感想画コンクール優秀作品展
2月2日(火)～2月7日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,618人
応募作品より優秀作品77点を展示。

▶ファインアート展
2月2日(火)～2月7日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,067人
福岡市中学校支援学級による作品展。絵画、手芸、陶芸、書、木工、紙工、共同作品など1,000点を展示。

▶旅の途中の回顧展
2月2日(火)～2月7日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝978人
油彩画35点を展示。

▶心のふる里人形展
2月9日(火)～2月14日(日)
特別展示室B
観覧料＝一般500円、高・大生300円、小・中生無料。
日数＝6日／観覧者数＝944人
創作人形120点を展示。

▶Multiplication IV
2月9日(火)～2月14日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝749人
写真作品約50点を展示。

▶第39回世界児童画展　福岡・佐賀展
2月9日(火)～2月14日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝2,276人
水彩画437点を展示。

▶グルーポ・グルーポ展
2月9日(火)～2月14日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,140人
平面、アクリル、油彩、水彩、半立体作品245点を展示。

▶九州産業大学芸術学部卒業制作・大学院終了制作展
2月16日(火)～2月21日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,874人
日本画、油彩画、陶器、彫刻、テキスタイル、写真、映像等の作品280点を展示。

▶第59回福岡市中学校美術展
2月16日(火)～2月21日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝5,441人
絵画、彫刻、工芸、デザイン等の作品約4,000点を展示。

▶九州産業大学芸術学部卒業制作展(美術学科)
2月23日(火)～2月28日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,830人
油彩画、日本画、映像、彫刻作品53点を展示。

▶九州産業大学芸術学部卒業制作展(芸術工芸学科)・大学院芸術研究科修了制作展(美術専攻)
2月23日(火)～2月28日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,201人
油絵、日本画、彫刻、工芸、染織の作品あわせて34点を展示。

▶墨心会
2月23日(火)～2月28日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,091人
水墨画46点、絵手紙60枚を展示。

▶早良区・西区公民館 水墨画サークル合同作品展
2月23日(火)～2月28日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,165人
水墨画50点を展示。

▶九州大学大学院芸術工学府　片山研究室作品展
2月23日(火)～2月28日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,320人
平面、映像、パネル、写真の作品25点を展示。

▶第2回福岡YPC写真展
3月2日(火)～3月7日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,093人
全紙サイズ72点の他特別入賞作品等計82点を展示。

▶福岡市書道協会展
3月2日(火)～3月7日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝1,869人
漢字、かな等の書作品約300点を展示。

▶第23回蘭亭書道展
3月9日(火)～3月14日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,481人
色紙や短冊の公募書作品の中から審査で選ばれた約2,500点を展示。

▶福岡風雲会書作展
3月9日(火)～3月14日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝767人
漢字、調和体、かなの書作品25点を展示。

▶かな書道包一会〈福岡展〉
3月9日(火)～3月14日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝858人
かな書作品60点を展示。

▶バルール展
3月9日(火)～3月14日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝608人
油彩、水彩、木炭テッサン等34点を展示。

▶福井書塾発表会 "今 想う"
3月9日(火)～3月14日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝808人
額装、軸装、パネルの書作品44点を展示。

▶第63回二紀展
3月30日(火)～4月4日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料。
日数＝6日／観覧者数＝3,076人
絵画、彫刻あわせて128点を展示。

▶ぐるーぷゆい染色展
3月30日(火)～4月4日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,251人
染色パネル、屏風20点を展示。

▶世界の帆船模型展
3月30日(火)～4月4日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,110人
AZ帆船クラブ会員が制作した帆船模型約50点を展示。

▶フォトクラブニッコリ第1回写真展
3月30日(火)～4月4日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,170人
風景写真49点を展示。

▶脱蝉社書展2010
3月30日(火)～4月4日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝978人
書作品等18点を展示。

講堂

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成21年			
福岡市中学校美術教育研究会総会	4月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	68
「第40回日展」解説	6月27日(土)		西日本新聞社	140
九州芸術学会	7月4日(土)		九州芸術学会	—
「第40回日展」親子鑑賞教室	7月11日(土)	洋画:田中公子、彫刻:片山博詞、工芸美術:佐藤好昭、書:岩田海道	西日本新聞社	74
「日中子ども書画展」表彰式	8月4日(火)		九州日中民間文化交流協会	—
福岡・近現代建築ツアーレクチャー	8月7日(金)		MATfukuoka実行委員会	—
	8月9日(日)			—
福岡渡辺社中夏季講演会「和物茶碗—波状の創造」「吸江斎没後150年を迎えて」	8月27日(木)	伊藤嘉章(九州国立博物館学芸部企画課長)、渡辺潤(表千家理事)	表千家福岡渡辺社中	250
韓国博物館開館100周年記念講演「文化財を通して見る日韓交流」	10月3日(土)	西谷 正(九州歴史資料館館長・伊都国歴史博物館名誉館長・九州大学名誉教授)	韓国観光公社	—
「第4回NHK福岡俳句ウォーク大会」講演・審査	10月11日(日)		NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡県俳句協会	—
「第39回福岡市高齢者美術展」表彰式	10月16日(金)		社団法人福岡市老人クラブ連合会	70
「第25回城南区市民アート展」表彰式	10月25日(日)		ふれあい城南運営委員会、福岡市城南区役所	—
「第14回福岡市美術連盟会員展」講演会「アジアから博多を見ると」	10月31日(土)	管洋志(写真家)	福岡市美術連盟	200
「第15回学校飼育動物スケッチコンクール」表彰式	11月8日(日)		福岡市獣医師会	200
シネフェス09	11月28日(土)		原口甲斐	6
	11月29日(日)			6
「福岡コアサイド・アート美術展2009」表彰式	12月5日(土)		福岡市障がい者(児)美術展実行委員会	5
	12月6日(日)			80
「第29回南区美術展」表彰式	12月13日(日)		南区市民の祭り運営委員会	70
福岡コピーライターズクラブ(FCC)審査会	12月18日(金)		福岡コピーライターズクラブ	—
	12月19日(土)			—
「西日本新聞書道之友展2009」表彰式	12月23日(水・祝)		西日本新聞社、西日本新聞書道会	120
	平成22年			
「第58回福岡県小学校児童画展」学校賞・特選児童表彰式	1月5日(火)		福岡県小学校図画工作教育研究会	239
南当仁小学校　美術鑑賞のための研修	2月19日(金)		福岡市立南当仁小学校	—
「第16回福岡市書道協会展」総会・講演会「硯について」	3月7日(日)		福岡市書道協会	100
シンポジウム「黒田如水・長政父子が創った都市～	3月19日(金)		福岡市教育委員会文化財部文化財整備課	—
宮本武蔵・高杉晋作・坂本龍馬が観た城下町」	3月20日(土)			—

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成21年		
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	4月17日(金)	フジクロームクラブjp福岡	14
福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	5月1日(金)	福岡市中学校美術教育研究会	30
平成21年度福岡市美術連盟総会	5月10日(日)	福岡市美術連盟	66
福岡通信三田会・山口通信三田会交流会	5月12日(火)	山口通信三田会	13
武蔵野美術大学校友会福岡支部総会	5月30日(土)	武蔵野美術大学校友会福岡支部	15
福岡市小学校図画工作教育研究会6月総会	6月13日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	54
二科展福岡デザイン部勉強会	6月14日(日)	二科会福岡デザイン部	7

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
(社)太平洋美術会西日本支部準備総会	6月21日(日)	(社)太平洋美術会西日本支部	75
「第44回太平洋美術展西日本公募展」表彰式	7月22日(水)	(社)太平洋美術会西日本支部、西日本新聞社	50
福岡市中学校美術教育研究会 研究部指導案審議	7月24日(金)	福岡市中学校美術教育研究会	—
第23回工芸美術知新会展授賞式	8月2日(日)	工芸美術知新会、読売新聞西部本社、FBS福岡放送	30
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	8月21日(金)	フジクロームクラブjp福岡	20
福岡渡辺社中夏季講演会	8月27日(木)	表千家福岡渡辺社中	—
福岡県中学校美術教育研究会代表者会	9月3日(木)	福岡県中学校美術教育研究会	38
絵画研究会	9月8日(火)	日洋会福岡	13
福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	9月9日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	27
明日の授業に役立つ版画指導のポイント	9月12日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	50
映像に関する勉強会	9月17日(木)	KRKプロデュース	21
「Fukuokaクラフトフェスタin海の中道」準備会議	9月30日(水)	好い陶際実行委員会	9
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	10月9日(金)	フジクロームクラブjp福岡	17
「第4回NHK福岡俳句ウォーク大会」講演・審査	10月11日(日)	NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡県俳句協会	—
福岡市小学校図画工作教育研究会10月定例会	10月17日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	44
「第25回城南区市民アート展」準備	10月18日(日)	ふれあい城南運営委員会、福岡市城南区役所	—
	10月19日(月)		
「第25回城南区市民アート展」表彰式	10月25日(日)	ふれあい城南運営委員会、福岡市城南区役所	100
第42回福岡市民茶会	11月2日(月)	福岡茶道文化連盟	30
	11月3日(火)		1300
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	11月6日(金)	フジクロームクラブjp福岡	20
福岡市中学校美術教育研究会研究部打ち合わせ会	11月13日(金)	福岡市中学校美術教育研究会	4
福岡市小学校図画工作教育研究会11月定例会	11月14日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	30
「第30回中央区市民文化祭美術作品展」表彰式	11月23日(月)	中央区市民の祭り運営委員会、中央区役所	70
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	11月25日(水)	フジクロームクラブjp福岡	18
「第61回毎日書道展九州展」準備	11月30日(月)	毎日新聞社、(財)毎日書道会	12
福岡市小学校図画工作教育研究会12月定例会	12月5日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	43
「第9回ロータリージュニア美術展」表彰式	12月6日(日)	福岡中央ロータリークラブ	70
太平洋美術会西日本支部絵画部総会	11月12日(土)	太平洋美術会西日本支部絵画部	30
行動美術協会会員会友会議	12月13日(日)	行動美術協会	40
福岡コピーライターズクラブ(FCC)審査会	12月18日(金)	福岡コピーライターズクラブ	—
	12月19日(土)		
	平成22年		
図画工作科教育研修	1月8日(金)	福岡市立有田小学校	25
「福岡養護学校アート展」見学	1月14日(木)	福岡県立福岡養護学校	25
福岡市小学校図画工作教育研究会1月例会	1月23日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	38
(社)太平洋美術会西日本支部染織部会	1月24日(日)	(社)太平洋美術会西日本支部染織部	24
(社)太平洋美術会西日本支部定時総会・役員会	1月24日(日)	(社)太平洋美術会西日本支部	69
観光案内ボランティア研修会	1月27日(水)	福岡市経済振興局観光振興課	—
福岡市小学校図画工作教育研究会2月例会	2月13日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	47
九州産業大学芸術学部映像祭	2月18日(木)	九州産業大学	57
	～21日(日)		
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	3月5日(金)	フジクロームクラブjp福岡	22
太平洋展研修会	3月6日(土)	(社)太平洋美術会西日本支部	86
	3月7日(日)		80
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	3月30日(火)	フジクロームクラブjp福岡	—

実技講座室

講座名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成21年			
デッサン研修	4月1日(水)		グループ形象	5
上野の森美術館　友の会実技講座	4月4日(土)		上野の森美術館	10
	4月5日(日)			10
モモチ油絵同好会	4月8日(水)		モモチ油絵同好会	6
人物デッサン	4月12日(日)		デッサンG	10
モモチ油絵同好会	4月15日(水)		モモチ油絵同好会	6
日洋会福岡研究会	4月18日(土)		日洋会福岡支部	12
デッサン会	4月19日(日)		ラ・リベルテ113	10
デッサン研修	4月22日(水)		グループ形象	6
市美連日本画　クロッキー会	5月6日(水)		市美連日本画	5
福岡二紀ムービングデッサン	5月10日(日)		福岡二紀	26
モモチ油絵同好会	5月12日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	5月13日(水)		グループ形象	5
福岡クロッキー会	5月17日(日)		福岡クロッキー会	4
モモチ油絵同好会	5月20日(水)		モモチ油絵同好会	7
ラ・リベルテ113　打合会	5月24日(日)		ラ・リベルテ113	11
デッサン研修	5月27日(水)		グループ形象	5
クロッキー会	5月28日(金)		森 信也	22
人物デッサン	5月31日(日)		デッサンG	12
デッサン研修	6月3日(水)		グループ形象	6
つくば開成高校　美術品制作	6月10日(水)		つくば開成高等学校福岡開成館	20
福岡二紀会学習会	6月14日(日)		福岡二紀会	39
モモチ油絵同好会	6月17日(水)		モモチ油絵同好会	6
福岡クロッキー会	6月21日(日)		福岡クロッキー会	7
人物デッサン	6月21日(日)		デッサンG	11
モモチ油絵同好会	6月23日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	6月24日(水)		グループ形象	5
クロッキー会	6月26日(金)		森 信也	23
「第40回日展」ワークショップ　工芸美術	6月28日(日)	小田謙二	西日本新聞社	12
「第40回日展」ワークショップ　洋画・デッサン	6月28日(日)	犀川愛子	西日本新聞社	10
デッサン研修	7月1日(水)		グループ形象	4
「第40回日展」ワークショップ　彫刻	7月5日(日)	片山博詞	西日本新聞社	10
「第40回日展」ワークショップ　日本画	7月5日(日)	中村賢次	西日本新聞社	12
モモチ油絵同好会	7月7日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	7月8日(水)		グループ形象	6
モモチ油絵同好会	7月15日(水)		モモチ油絵同好会	4
「第40回日展」ワークショップ　書	7月19日(日)	本松嶽仙	西日本新聞社	55
人物デッサン	7月26日(日)		デッサンG	7
クロッキー会	7月29日(水)		森 信也	23
創元会福岡支部第1回絵画研究会	8月1日(土)		(社)創元会福岡支部	35
デッサン会	8月2日(日)		ラ・リベルテ113	13
クロッキー会	8月26日(水)		森 信也	18
	8月27日(木)			18
人物デッサン	8月30日(日)		デッサンG	10
モモチ油絵同好会	9月2日(水)		モモチ油絵同好会	3
太平洋美術会絵画部　勉強会	9月6日(日)		太平洋美術会絵画部	24
デッサン研修	9月9日(水)		グループ形象	5
太平洋美術会絵画部　勉強会	9月13日(日)		太平洋美術会絵画部	28
モモチ油絵同好会	9月16日(水)		モモチ油絵同好会	4

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
太平洋美術会絵画部　勉強会	9月20日(日)		太平洋美術会絵画部	25
福岡クロッキー会	9月23日(水)		福岡クロッキー会	8
人物デッサン	9月27日(日)		デッサンG	9
デッサン研修	9月30日(水)		グループ形象	6
人物デッサン	10月4日(日)		デッサンG	8
デッサン研修	10月7日(水)		グループ形象	4
「第4回NHK福岡俳句ウォーク大会」講演・審査	10月11日(日)		NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡県俳句協会	—
福岡クロッキー会	10月12日(日)		福岡クロッキー会	6
モモチ油絵同好会	10月14日(水)		モモチ油絵同好会	5
デッサン会	10月18日(日)		ラ・リベルテ113	15
「第25回城南区市民アート展」準備	10月19日(月)		ふれあい城南運営委員会、福岡市城南区役所	—
モモチ油絵同好会	10月21日(水)		モモチ油絵同好会	3
グルーポ・グルーポ	10月22日(木)		森 信也	20
デッサン研修	10月28日(水)		グループ形象	4
デッサン会	11月1日(日)		ラ・リベルテ113	21
第42回福岡市民茶会	11月2日(月)		福岡茶道文化連盟	30
	11月3日(火)			1300
デッサン研修	11月4日(水)		グループ形象	5
福岡二紀会学習会ムービングクロッキー	11月8日(水)		福岡二紀会	20
モモチ油絵同好会	11月11日(水)		モモチ油絵同好会	5
人物デッサン	11月15日(日)		デッサンG	9
モモチ油絵同好会	11月18日(水)		モモチ油絵同好会	5
グルーポ・グルーポ	11月21日(土)		森 信也	18
福岡クロッキー会	11月22日(日)		福岡クロッキー会	10
デッサン研修	11月25日(水)		グループ形象	5
絵画研究会	11月29日(日)		(社)創元会福岡支部	29
デッサン研修	12月2日(水)		グループ形象	5
デッサン会	12月6日(日)		ラ・リベルテ113	11
モモチ油絵同好会	12月9日(日)		モモチ油絵同好会	4
人物デッサン	12月13日(日)		デッサンG	11
モモチ油絵同好会	12月16日(水)		モモチ油絵同好会	4
福岡コピーライターズクラブ(FCC)審査会	12月18日(金)		福岡コピーライターズクラブ	—
	12月19日(土)			—
「日本の自然を描く展」友の会講座	12月25日(金)		上野の森美術館	18
	12月26日(土)			18
福岡クロッキー会	12月27日(日)		福岡クロッキー会	10
	平成22年			
色紙描初め会	1月9日(土)		彩舟会	24
創元会福岡支部　第2回絵画研究会	1月10日(日)		(社)創元会福岡支部	26
福岡クロッキー会	1月11日(日)		福岡クロッキー会	8
モモチ油絵同好会	1月13日(水)		モモチ油絵同好会	4
人物デッサン	1月17日(日)		デッサンG	9
モモチ油絵同好会	1月19日(火)		モモチ油絵同好会	4
デッサン研修	1月20日(水)		グループ形象	4
ラ・リベルテ113研究会	1月24日(日)		ラ・リベルテ113	18
デッサン研修	1月27日(水)		グループ形象	4
デッサン研修	2月3日(水)		グループ形象	3
人物デッサン	2月7日(日)		デッサンG	10
モモチ油絵同好会	2月10日(水)		モモチ油絵同好会	5
モモチ油絵同好会	2月16日(火)		モモチ油絵同好会	5

講座名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
デッサン研修	2月17日(水)		グループ形象	4
福岡クロッキー会　定例会	2月21日(日)		福岡クロッキー会	11
デッサン会	2月28日(日)		ラ・リベルテ113	18
デッサン研修	3月3日(水)		グループ形象	4
創元会福岡支部　第4回絵画研究会	3月7日(日)		(社)創元会福岡支部	ー
モモチ油絵同好会	3月10日(水)		モモチ油絵同好会	6
油彩のためのワンポーズデッサン	3月14日(日)		福岡二紀会	10
モモチ油絵同好会	3月16日(火)		モモチ油絵同好会	6
デッサン研修	3月17日(水)		グループ形象	2
人物デッサン	3月21日(日)		人物デッサン	8
日洋会福岡研究会	3月22日(月)		日洋会福岡支部	13
グルーポ・グルーポ	3月24日(水)		森 信也	18
福岡クロッキー会	3月28日(日)		福岡クロッキー会	7

(講師敬称略)

版画印刷工房

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成21年		
版画制作	4月9日(木)	川邊衣江	3
版画制作	5月14日(木)	川邊衣江	3
版画制作	6月4日(木)	川邊衣江	3
版画制作	7月9日(木)	川邊衣江	3
版画印刷	7月10日(金)	鎌田恵務	1
版画制作	7月31日(金)	久佐高子	1
版画制作	8月6日(木)	久佐高子	3
版画制作	9月10日(木)	久佐高子	4
版画制作	10月8日(木)	久佐高子	4
版画制作	10月27日(火)	久佐高子	1
版画制作	11月7日(土)	久佐高子	1
版画制作	11月18日(水)	久佐高子	4
グルーポ・グルーポ	11月28日(土)	森 信也	1
グルーポ・グルーポ	11月29日(日)	森 信也	1
版画制作	12月2日(水)	久佐高子	4
グルーポ・グルーポ	12月6日(日)	森 信也	9
グルーポ・グルーポ	12月19日(土)	森 信也	1
	平成22年		
版画制作	1月14日(木)	久佐高子	4
版画制作	2月4日(木)	久佐高子	4
版画制作	3月11日(木)	久佐高子	4

入場者数一覧

展覧会観覧者数

■特別企画展等観覧者数

展覧会名	一般		高・大生		小・中生		招待	合計
	個人	団体	個人	団体	個人	団体		
未来をひらく 福澤諭吉展	10,025	1,149	456	694	1,318		7,220	20,862
コレクション／コネクション ー福岡市美術館の30年	7,567	235	732	106	1,307		2,539	12,486
生誕130年記念 冨田溪仙展	7,692	130	377	42	66	1	3,738	12,046
トリノ・エジプト展	39,590	5,965	2,447	93	3,361	592	18,624	70,672
第44回福岡市美術展	3,455		122		228		2,536	6,341

■常設展年間観覧者数

一般		高・大生		小・中生	老人等	合計
個人	団体	個人	団体			
9,950	18,739	850	1,864	15,429	15,204	62,036

※老人等とは、福岡市発行のシルバー手帳・北九州発行の年長者施設利用証および障がい者手帳提示者。

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,795
19	306	70,327	4	77,238	188	283,587	192	431,152
20	306	67,813	3	139,064	204	314,565	207	521,442
21	307	62,036	4	149,327	174	249,017	178	460,380
累計	9,219	2,466,198	104	4,002,291	5,771	14,311,401	5,875	20,779,890

※「第44回福岡市美術展」の開催数および観覧者数は「貸館展」に含まれる。

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	622	26	23	622	381,379
5	529	27	19	1,151	381,908
6	467	25	18	1,618	382,375
7	553	27	20	2,171	382,928
8	582	26	22	2,753	383,510
9	505	26	19	3,258	384,015
10	515	27	19	3,773	384,530
11	487	25	19	4,260	385,017
12	355	24	14	4,615	385,372
1	511	24	21	5,126	385,883
2	555	24	23	5,681	386,438
3	512	26	19	6,193	386,950
年総数	6,193	307	20		

小数点以下切捨

■美術館協議会委員

（50音順・敬称略・肩書きは平成21年度のもの）

会長	錦織亮介	北九州立大学名誉教授
副会長	濱砂圭子	育児情報誌編集長
学校教育関係者	梅崎 薫	柏原中学教頭
	古川勝敏	愛宕小学校長
	吉積正孝	博多工業高等学校長
社会教育関係者	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
	佐々木静子	福岡市社会教育委員
	永野繁一	福岡市PTA協議会副会長
	藤本昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
学識経験者	石川正知	財団法人福岡文化財団専務理事
	後小路雅弘	九州大学教授
	京谷啓徳	九州大学准教授
	後藤新治	西南学院大学教授
	古野靖弘	社団法人福岡県美術協会理事長
	松尾孝司	株式会社西日本新聞社文化部
	山田 彰	福岡市美術展運営委員
	龍 秀美	秀巧社印刷（株）外国語チームチーフディレクター

■収集審査委員

（50音順・敬称略・肩書きは平成21年度のもの）

近現代美術	乾 由明	兵庫陶芸美術館館長
	中村英樹	名古屋造形大学教授
	古川智次	福岡大学教授
古美術	菊竹淳一	九州産業大学教授
	西岡康宏	元東京国立博物館副館長
	吉田宏志	京都府立大学名誉教授
	大橋康二	佐賀県立九州陶磁文化館館長

■職員

館長	永松正彦
副館長（事業管理部長事務代理）	
事業管理部長	河野 司
管理課長	徳永寛樹
管理係長	稲永幸一
管理係	長尾知早
	西 邦彦
	石田昌平
展覧会等運営調整選任主査	鳥巣道雄
学芸課長	渡邊雄二
学芸係長	岩永悦子
主任学芸主事	山口洋三
	三谷理華
学芸員	山本香瑞子
	後藤 恒
	正路佐知子
	鷲頭 桂
	吉田暁子（平成21年10月1日より）
嘱託員	川原大二郎
	中村恭子
	ギャレット三宅万里子
	尾崎直人
	中原千代子
	中務美紀

平成21年度 福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館
〒810-0051　福岡市中央区大濠公園1-6
TEL: 092-714-6051

デザイン **SOL** DESIGN INC.

印　　刷 株式会社エージェント

発行年月日 2011年3月18日

© 福岡市美術館　2011年

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM